

XXIV. ロシア連邦
(Russian Federation)

＜目次　～ロシア～＞

第1章 市場環境の特徴	2
第2章 金融制度概要	3
1. 金融機関の種類	4
2. 監督官庁と指導体制	6
3. 預金保険制度の枠組み	9
4. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制	9
第3章 郵便貯金の概要	10
1. ポストバンクの沿革概要	10
2. 組織形態	10
(1) 経営形態	10
(2) 金融サービス提供の形態	11
(3) 窓口取扱時間	11
3. 主要なリテール業務内容	12
(1) 預金業務概要	12
(2) 資金運用業務概要	14
(3) 送金・決済業務概要	14
(4) クレジット商品取扱業務概要	16
4. 会計基準と財務諸表	17
第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴	18
1. 金融セクターにおけるリテール金融機関の位置付け	18
(1) 預金等の受け入れ	18
(2) 資金の貸出等	20
2. 主要リテール銀行の特徴	21
(1) ポストバンク	21
(2) Sberbank（ズベルバンク）	21
(3) VTB Bank（VTB 銀行）	22
(4) Gazprombank（ガスプロム銀行）	23
(5) Alfa Bank（アルファ銀行）	24
(6) Bank FC Otkritie（オトクリティエ農業銀行）	24
3. 家計の金融資産・負債の動向	25
第5章 最近の金融動向と今後の展望	27
1. 最近の金融動向	27
(1) 金融サービスの利用状況	27
(2) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等	28
2. 最近のリテール決済の動向	29
(1) キャッシュレス決済等の動向	29
(2) フィンテックの動向	29
3. 今後のリテール金融機関の動向	31
＜出所資料一覧＞	33

＜略語集＞

略語	英語	日本語訳
BOR (ЦБРФ)	Central Bank of the Russian Federation (Центральный Банк Российской Федерации)	ロシア連邦中央銀行
BSCF (ФКБС)	Banking Sector Consolidation Fund (Фонд Консолидации Банковского Сектора)	銀行部門健全化基金
BSD (ДБН)	Banking Supervision Department (Департамент Банковского Надзора)	銀行監督部
SOBS (СТБН)	Service for Ongoing Banking Supervision (Служба Текущего Банковского Надзора)	継続的銀行監督部
SIBSD (ДНСЗКО)	Systematically Important Banks Supervision Department (Департамент Надзора за Системно Значимыми Кредитными Организациями)	システム上重要な 銀行監督部
DIA (АСВ)	Deposit Insurance Agency of Russia (Агентство по Страхованию Вкладов)	ロシア預金保険公社

第1章 市場環境の特徴

図表 1: ロシアの概要

分類	項目	
一般事情	面積	約 1,710 万平方キロメートル (日本の 45 倍, 米国の 2 倍近く) (出所: ロシア国家統計庁)
	人口	1 億 4,675 万人 (2019 年、IMF 推計)
	首都	モスクワ
	民族	スラヴ民族 82.7% テュルク系 8.7% コーカサス系 3.7% ウラル系 1.6% 他 (2010 年国勢調査より、言語による分類)
	言語	公用語: ロシア語 各共和国の公用語: タタール語、 チェチェン語など 26 言語
	宗教	ロシア正教, イスラム教, 仏教, ユダヤ教等
	在留邦人数	2,438 人 (2019 年 10 月 1 日時点)
政治体制・ 内政	政体	共和制, 連邦制 (共和国や州等 83 の連邦構成主体からなる連邦国家)
	元首	プーチン, ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ 大統領 (2012 年 5 月 就任)
	議会	ロシア連邦議会: 連邦院 (上院) と国家院 (下院) の二院制 (1) 連邦院 定数: 各連邦構成主体から 2 名ずつ 任期: 連邦構成主体首長及び議会ごとに異なるが概ね 4~5 年 (2) 国家院 定数: 450 任期 5 年 (小選挙区比例代表並立制)
	首相	ミシュースティン, ミハイル・ウラジーミロヴィチ
	主要産業	鉱業 (石油, 天然ガス, 石炭, 金, ダイヤモンド等), 鉄鋼業, 機械工業, 化学工業, 繊維工業
経済	GDP	1 兆 7,025 億ドル (2019 年、IMF 推計)
	1 人あたり GDP	11,601 ドル (2019 年、IMF 推計)
	実質 GDP 成長率	1.3% (2019 年、IMF 推計)
	通貨	ルーブル。1 ドル = 79.20 ルーブル、1 ルーブル = 1.3186 円 (2020/10/30)



(出所) IMF、外務省等を基に作成

図表 2: ロシアの主要経済指標

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
人口	万人	14,287	14,306	14,335	14,367	14,627	14,655	14,680	14,688	14,678	14,675
名目 GDP	億ドル	16,331	20,466	21,915	22,884	20,488	13,567	12,806	15,751	16,652	17,025
1 人あたり GDP (名目)	ドル	11,431	14,306	15,288	15,929	14,008	9,258	8,724	10,724	11,345	11,601
実質 GDP 成長率	%	4.5	5.1	4.0	1.8	0.7	-2.0	0.2	1.8	2.5	1.3
消費者物価上昇率	%	6.8	8.4	5.1	6.8	7.8	15.5	7.0	3.7	2.9	4.5
経常収支	GDP 比%	4.1	4.8	3.3	1.5	2.8	5.0	1.9	2.0	6.9	3.8
財政収支	GDP 比%	-3.2	1.4	0.4	-1.2	-1.1	-3.4	-3.7	-1.5	2.9	1.9
政府債務	GDP 比%	10.1	10.3	11.2	12.3	15.1	15.3	14.8	14.3	13.5	13.9

(出所) IMF "World Economic Outlook October 2020" を基に作成

第 2 章 金融制度概要

ロシア連邦が誕生する以前のソビエト連邦では「モノバンク制度」のもと、中央銀行としての機能と決済および短期信用供与業務はすべてソ連ゴスバンク（ソ連国家銀行）が担っていたが、1987 年、ゴスバンクは企業への信用供与業務を停止し、以降は中央銀行としての役割に特化するようになった。替わって工業、農業、建設等の分野別に与信業務を行なう **Promstroi Bank**（工業建設銀行）、**Agroprom Bank**（農工銀行）、**Zhilsots Bank**（住宅・社会建設銀行）と、家計からの預貯金の受け入れを行う **Sberbank**（住民貯蓄銀行）、外国勘定と決済機能・外国為替取引に関する信用供与などの対外的な業務を行う **Vneshekonombank**（対外経済銀行）の 5 つの国営銀行が設立されると同時に、1988 年の「協同組合法」によって民間金融機関の設立が認められた。

1990 年のゴスバンクの改組による「ロシア連邦中央銀行」（以下『ロシア中銀』）の設立と「銀行及び銀行業務法」の制定、1991 年のソ連解体による市場経済導入を経て、従来のモノバンク制度から中央銀行と商業銀行を分離した二層式銀行制度への移行が行われ、複数の国有の商業銀行が誕生するとともに民間銀行や外資系銀行が金融市場に参加するようになった。

ソ連崩壊後の 1990 年代、ロシアでは全面的な価格自由化の実施や中央政府の生産指令の停止、コメコン体制の崩壊による物資不足、ルーブルの下落などによって経済が混乱し、ハイパーインフレが起きた。このハイパーインフレを背景に、商業銀行はルーブルに対する為替投機的な取引と高利回りの短期国債への投資で利益をあげることに注力し、貯蓄受入れ、金融仲介や信用創造といった銀行の業務はほとんど行っていなかった。このような資金運用の脆弱性が災いし、1998 年に通貨危機が起こると経営不振から零細銀行のみならず金融産業グループをバックとする主要銀行の 20%以上が倒産した。

1998 年の通貨危機後、ロシア政府およびロシア中銀は、預金の保護や商業銀行への貸し出しを行うとともに、銀行間の合併推進や問題銀行の免許取り消しによる銀行セクターのリストラによって、金融システムの維持・強化を図った。また、金融機関再建機構 **Agency for the Restructuring of Credit Organisations**（ARCO）を設立して銀行制度の安定化を図る動きも見られた。

1. 金融機関の種類

ロシアでは、前述の中央銀行と商業銀行を分離した二層式銀行システムを採用しており、第1層はロシア連邦中央銀行、その他の全ての信用機関ならびに外国資本銀行の現地法人、支店は第2層に分類されるということが「ロシア連邦中央銀行法」（2002年制定）と「銀行及び銀行業務法」（1990年制定）によって規定されている¹。ロシア中銀については、通貨ルーブルの安定を守ることが第一の目的であること、また、行政府から独立した機関であることが「ロシア連邦中央銀行法」によって定められている。信用機関については、「銀行及び銀行業務法」によって、「利益を得ることを主要目的とし、本法で定められた銀行業務をロシア連邦中央銀行の許可に基づいて行う権利を有する法人」と定義され、預金業務および預金を原資とする融資業務を行うことができる「銀行」と、その他の特定の銀行業務のみを行う「ノンバンク」（非銀行信用機関）に分類されている。

「銀行」については、「銀行及び銀行業務法」によって、さらに、自己資本金が9億ルーブル以上であることを条件として海外での現地法人や支店の開設が認められる「ジェネラルライセンス保有銀行（general licence holder bank）」とその他の銀行（最低自己資本金は3億ルーブル）の2種類に分類されていたが、2017年5月1日付同法改正により、同年6月1日以降、「ユニバーサルライセンス保有銀行（Universal licence holder bank）」と「基本ライセンス保有銀行（basic licence holder bank）」という、新たな分類が導入された。

「ユニバーサルライセンス保有銀行」は、自己資本金が10億ルーブル以上であることを条件として、全ての銀行業務、および海外での現地法人や支店の開設が認められる。「基本ライセンス保有銀行」は、最低自己資本金が3億ルーブルとされ、海外での現地法人や支店の開設が認められないのに加え、海外の個人・法人顧客との取引も認められない等、主に国際業務において制限を受ける。他方、預金準備率や情報開示義務、リスク管理システムの評価等に関して、「基本ライセンス保有銀行」には「ユニバーサルライセンス保有銀行」よりも緩やかな基準が適用される²。

この新しい分類への移行は、次の2つの段階によって進められ、2018年末までに完了した。第1段階では、2017年6月1日をもって、全ての銀行が資本金額に関係なく「ユニバーサルライセンス保有銀行」に分類された。第2段階は、各銀行が、2018年初時点の自己資本金額に基づいて、2019年以降も「ユニバーサルライセンス保有銀行」のステータスを継続するか、「基本ライセンス保有銀行」もしくは、非銀行信用機関に切り替えるかを選択し、その手続きを2018年末までに完了させるというものであった。具体的には、2018年初時点の自己資本金が3億ルーブル以上、10億ルーブル未満の「ユニバーサルライセンス保有銀行」は、2018年末までに「基本ライセンス保有銀行」への切り替え手続きを完了させなければならず、切り替え手続きを行わなければ、2019年以降、銀行業務を行うことができなくなる。この方式に基づいて、2018年末までに合計152行が「ユニバーサルライセンス保有銀行」から「基本ライセンス保有銀行」

¹ 「ロシア連邦中央銀行法」：Federal Law No.86-FZ, dated July 10, 2002, “On the Central Bank of the Russian Federation (Bank of Russia)” http://www.cbr.ru/Content/Document/File/37343/law_cb_e.pdf
「銀行及び銀行業務法」：Federal Law No.395-1, dated December 2, 1990, “On Banks and Banking Activities” http://www.cbr.ru/Content/Document/File/37344/law_banks_e.pdf（閲覧日：2020年9月9日）

² Bank of Russia, “Развитие пропорционального регулирования банковского сектора в Российской Федерации – Федеральный закон от 01.05.2017 № 92-ФЗ «О внесении изменений в отдельные законодательные акты Российской Федерации»” http://www.cbr.ru/Press/press_centre/events/02062017.pdf（閲覧日：2020年9月9日）

行」への切り替え手続きを完了した。ただし、152 行のうち 3 行は、「基本ライセンス保有銀行」への切り替え後にロシア中銀によってライセンスをはく奪されたため、2018 年末時点の「基本ライセンス保有銀行」の数は 149 行となった³。

証券会社や投資ファンド、保険会社、非国家年金基金、マイクロファイナンス機関、信用組合等の計 18 業種は、「ロシア連邦中央銀行法」の第 10-1 章 76-1 条によって、「非信用金融機関」に分類されている。

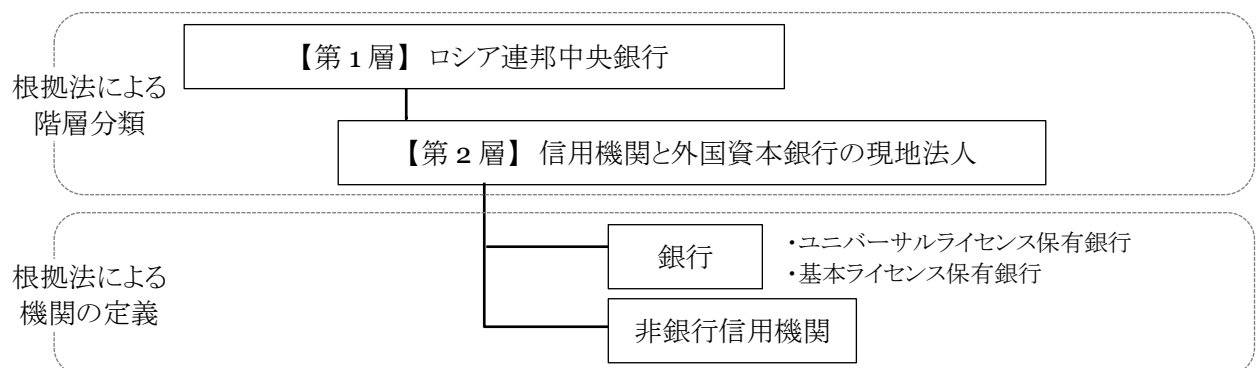
図表 3: ロシアにおける信用機関の業態分類

階層	業態		数	総資産 (10 億ルーブル)	根拠法	特徴
第 1 層	ロシア連邦中央銀行		1	-	ロシア連邦中央銀行法 (2002 年)	ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国の中央銀行として 1990 年に設立。ロシアの通貨と金融機関の監督を行う。
第 2 層	信用機関 (計 427)	銀行	388	96,581	銀行及び銀行業務法 (1990 年)	根拠法の 5 条で規定される銀行業務を行う。 「ユニバーサルライセンス保有銀行」と「基本ライセンス所有銀行」の二種類が存在。
		ユニバーサルライセンス保有銀行	257			
		基本ライセンス保有銀行	131			
		ノンバンク	39			
	外国資本銀行		132			

(注) 外国資本銀行数は、2020 年 3 月末時点 (2020a, p. 106)、その他の信用機関数は 2020 年 6 月末時点 (2020a, p. 102)。総資産は 2019 年末時点 (2020b, Table 1)。

(出所) ロシア中央銀行 (2020a) “Statistical Bulletin”, No. 7 <https://www.cbr.ru/eng/statistics/bbs/>
ロシア中央銀行 (2020b) “Review of the Banking Sector of the Russian Federation”, № 214 August 2020
https://www.cbr.ru/eng/statistics/bank_sector/review/#a_51146 (閲覧日: 2020 年 9 月 9 日)

図表 4: ロシア信用機関の構成



(出所) ロシア連邦中央銀行法 (2002 年)、銀行及び銀行業務法 (1990 年) を基に作成。

³ BANKIR.RU, “Стал известен весь список банков, получивших базовую лицензию” (January 22, 2019)
<https://bankir.ru/novosti/20190122/stal-izvesten-ves-spisok-bankov-polucivshih-bazovuu-licenziu-10153780/>
(閲覧日: 2020 年 9 月 9 日)

2. 監督官庁と指導体制

ソビエト連邦ではゴスバンクが中央銀行の役割を担っていたが、1990年にロシア中銀が設立されてからは、「ロシア連邦中央銀行法」に基づき、このロシア中銀が中央銀行として銀行および非銀行信用機関の設立許可や支店開設等の免許交付、監督業務を行うとともに、非信用金融機関の監督業務、預金者の権利保護も行っている。

連邦法に規定された基準に基づく決算情報の開示の要求、金融機関の自己資本金が特定の銀行業務を行うのに充分であるかどうかのチェックといった銀行に対する監督業務は全てロシア中銀の“BSD（Banking Supervision Department）”が行っていたが、リテール銀行の監督・指導体制の強化のため、2017年3月にはロシア中銀における新たな監督部署として“SOBS（Service for Ongoing Banking Supervision）”が設立され、ロシア中銀の地方拠点が担っていたリテール銀行の監督業務の役割を引き継ぐこととなった⁴。リテール銀行の監督業務を中央集約化し、その高効率化と質の向上を図るとともに、リテール銀行に対する監督基準を全国で統一し、監督責任者の結果に対する責任を明確にするのがSOBS設立の狙いである。

現在、リテール銀行の監督・指導はSOBSと、“SIBSD（Systematically Important Banks Supervision Department）”、そして前述の“BSD（Banking Supervision Department）”の3つの機関によって行われている。このうち、SIBSDはロシア中銀がシステム上重要であると指定した銀行、SOBSはそれ以外のリテール銀行の監督・指導業務をそれぞれ担当し、BSDはSOBSとSIBSDに対し、両機関が行う監督業務に関する指導と管理を行っている（図表8）。また、SOBSやSIBSDが監督業務を行うにあたり、詳細な調査によって得られた情報なくしてその実行が困難であると判断された場合には、“BSD（Banking Supervision Department）”が両機関からの依頼のもとに、該当するリテール銀行に対する調査を行う。

個人からの預金の受け入れは、ロシア中銀より預金受け入れを許可するライセンスが与えられ、銀行として登録されてから2年以上が経過した銀行のみが可能であると「銀行及び銀行業務法」の第6章36条に規定されている。ただし、自己資本金が36億ルーブル以上の「ユニバーサルライセンス保有銀行」で、かつロシア中銀が定める銀行の実質的な管理者に関する情報開示義務を順守する銀行については、登録後の経過期間が2年未満であっても個人からの預金の受け入れが可能である。

⁴ ロシア中央銀行ウェブサイト “Banking Supervision Report 2017”, p.66
https://www.cbr.ru/Content/Document/File/48502/bsr_e_2017.pdf
(閲覧日：2020年9月9日)

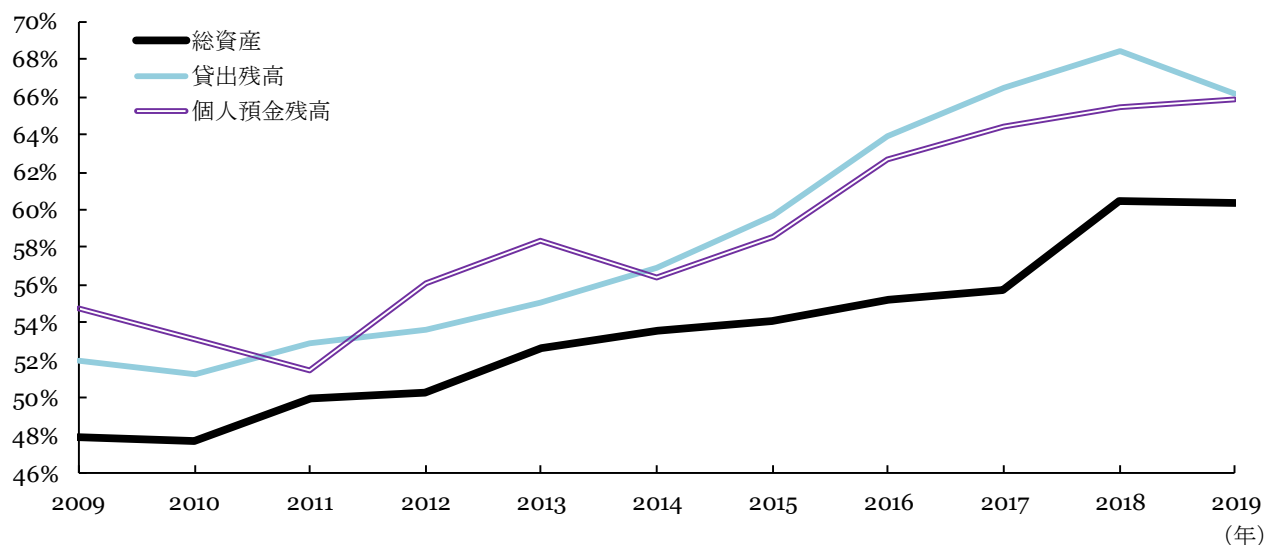
図表 5: 上位 10 行の総資産、貸出残高、預金残高 (2019 年 12 月 31 日時点)

(単位: 10 億ルーブル)	総資産		貸出残高		預金残高		リテール預金残高	
	金額	シェア	金額	シェア	金額	シェア	金額	シェア
Сбербанк России ズベルバンク	29,959	31.0%	21,749	34.4%	21,574	34.6%	14,210	46.5%
VTB BANK VTB 銀行	15,576	16.1%	10,774	17.1%	10,974	17.6%	5,038	16.5%
Газпромбанк ガスプロム銀行	6,582	6.8%	4,593	7.3%	4,969	8.0%	1,220	4.0%
Альфа-Банк アルファ銀行	3,863	4.0%	2,466	3.9%	2,565	4.1%	1,359	4.4%
Банк «ФК Открытие» オトクリティエ FC 銀行	3,264	3.4%	1,341	2.1%	1,818	2.9%	985	3.2%
Россельхозбанк ロシア農業銀行	3,216	3.3%	2,471	3.9%	2,486	4.0%	1,191	3.9%
Московский Кредитный Банк モスクワ信用銀行	2,423	2.5%	685	1.1%	1,340	2.1%	486	1.6%
Промсвязьбанк プロムスビヤジバンク	2,162	2.2%	1,071	1.7%	1,689	2.7%	523	1.7%
Райффайзенбанк ライファイゼンバンク	1,274	1.3%	802	1.3%	955	1.4%	481	1.6%
ЮниКредит Банк ユニクレディット銀行	1,226	1.3%	778	1.2%	862	1.4%	321	1.1%
その他銀行	28,322	29.3%	17,186	27.2%	13,987	22.4%	5,056	16.6%
合 計	96,581	100.0%	63,138	100.0%	62,357	100.0%	30,549	100.0%

(注) 合計額は、銀行以外の信用機関を含む。各銀行のデータは、いずれも連結ベース。

- (出所) 1. 総資産上位 10 銀行の選定は、RIA Rati, Ranking of banks by assets as of April 2020 http://vid1.rian.ru/ig/ratings/banki_05_04_20.pdf (閲覧日: 2020 年 9 月 9 日) による。
2. 各銀行のデータは、各銀行の Financial Statements による。(閲覧日: 2020 年 9 月 9 日)
3. 合計額は、ロシア中央銀行 (2019 年末現在) Time series of indicators from certain tables of Review of the banking sector of the Russian Federation https://www.cbr.ru/Content/Document/File/94101/EOBS_tabl.xlsx による。(閲覧日: 2020 年 9 月 9 日)

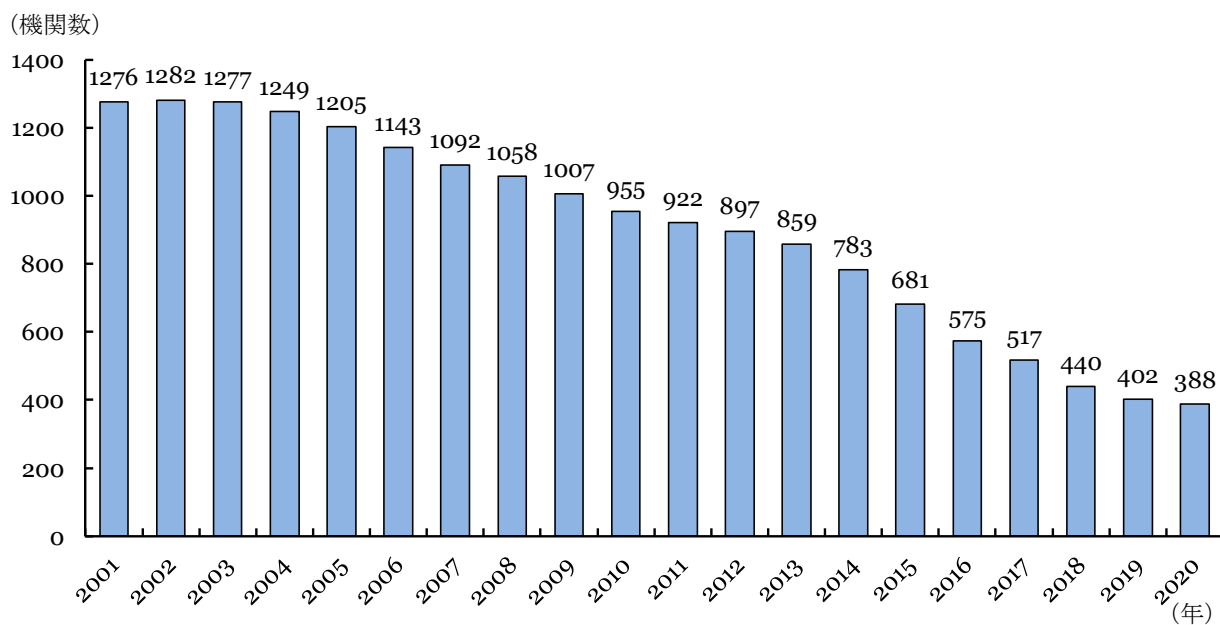
図表 6: 総資産上位 5 行の総資産、貸出、預金シェアの推移 (各年 12 月末)



(注) 貸出残高は、非金融機関および個人向けの貸出残高。2019 年は 12 月末時点。

(出所) ロシア中央銀行 “Selected Performance Indicators of Credit Institutions (Credit Institutions Ranked by Size of Assets)” http://www.cbr.ru/Eng/statistics/?PrtId=pdko_sub (閲覧日: 2020 年 2 月 25 日)

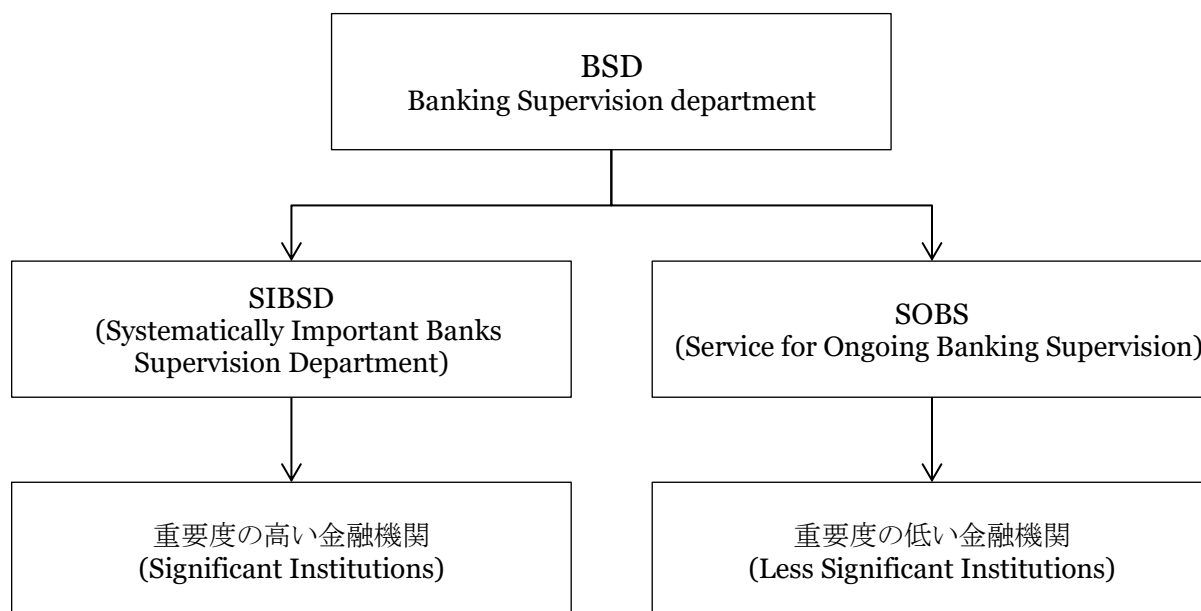
図表 7：銀行数の推移（各年 12 月末時点）



(注) 2020 年は 6 月末時点。

(出所) ロシア中央銀行, “Statistical Bulletin” <https://www.cbr.ru/eng/statistics/bbs/> 各号より作成
(閲覧日:2020 年 9 月 9 日)

図表 8：監督官庁の組織図



(出所) ロシア中央銀行発表の資料を基に作成

3. 預金保険制度の枠組み

個人から預金の受け入れを行う銀行は全て、預金者への預金の返還を保証し、損失を防止することを目的に、ロシアの預金保険制度（“The System of the Mandatory Insurance of Household Deposits with Banks”）への加入が「銀行及び銀行業務法」の第6章38条によって義務づけられている。この強制加盟の預金保険制度は、2003年12月に制定された「個人預金保険法」によって構築されており、同法に基づき2004年1月に設立されたロシア預金保険公社（“Deposit Insurance Agency of Russia”）が保険事故の際の預金者への預金の返還や、銀行からの保険料徴収による預金保険基金の管理といった業務を担当し、制度の運営を行っている。保険事故の発生時に補償される預金の最大額は、2004年に預金保険制度が導入された当初は一人当たり10万ルーブルであったが、その後段階的に引き上げられ、2014年12月29日以降は140万ルーブルとなっている。また、2018年8月3日付の「個人預金保険法」の改正により、2019年初より、個人に加えて小企業の預金も預金保険の対象に含まれるようになった。なお、「銀行及び銀行業務法」の第6章39条によって、強制加盟の預金保険制度と並行して、銀行が任意に預金保険基金を設立することも認められている。

預金保険制度が導入されるまでは、政府系銀行のズベルバンクのみが政府によって預金が保障されているという共通認識のもと、個人預金が同行に集中する状態が長く続いていたことから、銀行間のより公正な競争を狙いとして預金保険制度が導入されたと考えられる⁵。

4. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制

現行の税法によると、ロシア中銀の政策金利である中銀キーレート（“Key Rate”）⁶を5%以上超えるルーブル預金金利および9%を超える外貨預金金利に対しては35%の高率が課せられる。それ以外の預金金利に対しては、ロシア税法上の居住者（年間国内滞在日数183日以上）は13%、非居住者は30%が課せられる。

配当課税は居住者13%、非居住者15%、キャピタルゲイン課税は居住者13%、非居住者30%となっている。

図表 9: 預貯金税制

		税率	
		ロシア居住者	非居住者
預金金利	下記以外の預金	13.0%	30.0%
	中銀キーレート+5%を超えるルーブル預金金利 および9%を超える外貨預金金利	35.0%	35.0%
配当		13.0%	15.0%
キャピタルゲイン		13.0%	30.0%

（注）税法上のロシア居住者の定義は、年間国内滞在日数が183日以上である者。

（出所）「ロシア租税基本法」第2部第23章：個人所得税

<http://base.garant.ru/10900200/12625b5ff8431ca71b30b3e3ab382831/>

（閲覧日：2020年9月9日）

⁵ 「個人預金保険法」：Federal Law No. 177, dated December 23, 2004, “On the Insurance of Household Deposits in Banks of the Russian Federation” http://www.consultant.ru/document/cons_doc_LAW_45769/（閲覧日：2020年9月9日）

⁶ 中銀キーレートとはロシア中央銀行が商業銀行を対象に行う1週間物の入札レポレートを目指す。2020年7月24日以降4.25%p.a.

第3章 郵便貯金の概要

1. ポストバンクの沿革概要

1990年9月28日、ポストバンクの前身となるベジツァ銀行 (Bezhitsa Bank OJSC) がブリャンスクで設立された⁷。ベジツァ銀行は2011年2月にVTB銀行によって買収され⁸、2012年9月にレト銀行 (Leto Bank OJSC) と改称されて所在地がモスクワに移された⁹。2014年8月には、VTB銀行の子会社であるVTB24が同行の唯一の株主となった。

VTB24は、2016年1月にレト銀行の発行済株式の50%マイナス1株をロシア郵便の子会社であるポストファイナンス (Post Finance LLC) に売却し、同年3月にレト銀行はポストバンク (PJSC Post Bank) に改称された。

ポストバンクはロシアでのリテール銀行の大手であるVTB銀行の高度な金融サービスを、ロシア郵便が有する国内の郵便局の支店による広大なネットワークを通してロシア国民に提供すべく設立された合弁会社である。

ポストバンクは2016年の発足後、大幅な成長を続けている。単体決算ベースでみると、2019年末時点で同行の総資産は約4,690億ルーブルに達し、2018年末時点の約3,678億ルーブルから27.5%増加した。同行の自己資本は2019年末時点で約764億ルーブルであり、2018年末時点の約433億ルーブルから76.5%増加した。ロシアの情報ポータル「Banki.ru」が公表している国内金融機関の純資産規模ランキングにおける同行の順位は、2018年の27位から2019年には20位に上昇した。同行の純利益は、2018年の80.8億ルーブルに対して、2019年には58.1億ルーブルとなった¹⁰。

2. 組織形態

(1) 経営形態

2017年12月にVTB24がポストバンクの株式2株をポストバンクのCEO (Rudenko Dmitrii Vasil'evich) に売却した。その結果、2017年末時点でVTB24とポストファイナンスがそれぞれ50%マイナス1株ずつを保有するようになったが、株主間の合意により、VTB24のポストバンクに対するIFRSの定義に基づく支配権が認められた。

2018年1月にVTB銀行がVTB24銀行を吸収合併したのに伴い、VTB銀行が、ポストファイナンス (ロシア郵便の100%子会社) と並ぶポストバンクの筆頭株主となり、IFRSの定義に基づく支配権もVTB銀行に移管された。しかし、同年9月の主要株主間の合意により、VTB銀行のポストバンクに対する支配権は失効した¹¹。

2019年末時点のポストバンクに対する持株比率は、VTB銀行とポストファイナンスがそれぞれ49.999993%ずつとなっている¹²。

⁷ ポストバンク 「アニュアルレポート2018」 p.2 <https://www.pochtabank.ru/about/data> (閲覧日：2020年9月11日)

⁸ VTB BANK 「2010-11年連結財務諸表」 pp.7, 31 <http://www.vtb.com/ir/statements/ifrs/> (閲覧日：2020年3月3日)

⁹ VTB BANK 「連結財務諸表 30 September 2012」 p.7 <http://www.vtb.com/ir/statements/ifrs/> (閲覧日：2020年3月3日)

¹⁰ ポストバンク 「アニュアルレポート2019」 p.4

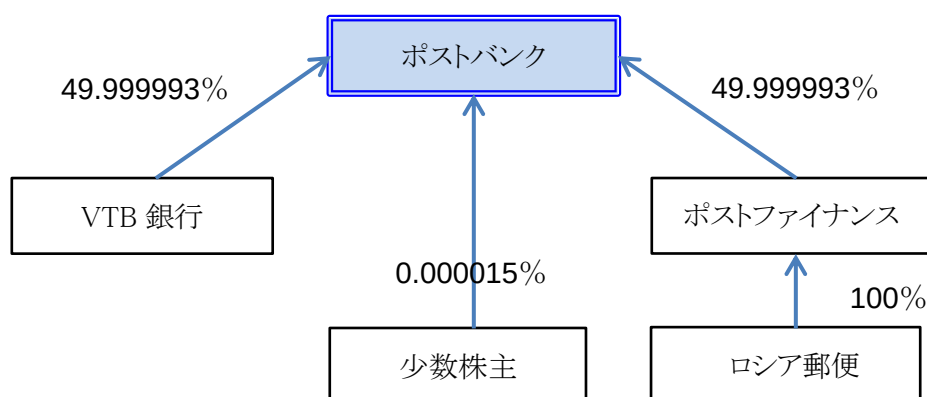
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/annualreport_2019.pdf (閲覧日：2020年11月18日)

¹¹ ポストバンク 「2018年決算報告」 p.13

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_Bank__2018.pdf (閲覧日：2020年3月3日)

¹² ポストバンク 「アニュアルレポート2019」 p.2

図表 10：ポストバンクの主要株主の持株比率



(出所) ポストバンク “Список лиц, под контролем либо значительным влиянием которых находится ПАО «Почта Банк»”。https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/RB0650_20191001.pdf
(閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

(2) 金融サービス提供の形態

ポストバンクは、預金・貯蓄口座、クレジットカード、デビットカード、個人・法人顧客へのローンの貸付、年金および給与の支払いサービス、決済および送金サービスを提供している。決済および送金サービスは、モバイル・インターネットバンキング、ATM 等を通じた利用が可能である¹³。

同行は、2019 年末時点でロシアの 83 の連邦構成主体に約 19,100 カ所の拠点を有している。同行の拠点のうち、86%は農村部および人口が 10 万人未満の小規模な都市に位置しており、個人の顧客数は 1,340 万人に達している。同行の ATM の設置台数は 4,800 台を超えている。ATM の他に、公共料金や携帯電話通話料等の支払いを主な機能とする POS (Point of Sale) ターミナルの設置台数が 10.2 万台あり、顧客はこの POS ターミナルでもポストバンク口座からの出入金を行うことができる¹⁴。

なお、2019 年末時点の同行の拠点約 19,100 カ所のうち、18,538 カ所は、郵便局内に設置された営業窓口であった。ロシア国内に存在する約 42,000 の郵便局のうち、40%以上に同行の営業窓口が設置されていることになる。さらに、郵便局内に設置されたポストバンクの営業窓口のうち、ポストバンクの従業員が勤務する営業窓口は 4,119 カ所に留まり、その他の 14,419 カ所の営業窓口では、従業員としてロシア郵便の職員が勤務していたことが報告されている¹⁵。

(3) 窓口取扱時間

ポストバンクの窓口業務は主に郵便局にて行われている。郵便局内のポストバンク営業窓口の取扱時間は、基本的には平日は 8:00～20:00、土曜日は 9:00～18:00 であ

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/annualreport_2019.pdf (閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

¹³ ポストバンク ウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service> (閲覧日：2020 年 9 月 11 日)

¹⁴ ポストバンク 「アニュアルレポート 2019」 p. 3

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/annualreport_2019.pdf (閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

¹⁵ ポストバンク 「アニュアルレポート 2019」 p. 3

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/annualreport_2019.pdf (閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

るが、場所により異なる。

図表 11：ポストバンク等の取扱時間

取扱場所	取扱時間
郵便局内の営業窓口 (カスタマーセンター)	平日：8:00～20:00 土：9:00～18:00 (場所により時間が異なる)
ポストバンクのカスタマーセンター	平日：9:00～21:00 土：10:00～17:00 日：休 (場所により時間が異なる)
VTB 系列銀行 ATM	(場所により時間が異なる)

(出所) ポストバンクウェブサイト (閲覧日：2019 年 5 月 14 日)

3. 主要なリテール業務内容

(1) 預金業務概要

ポストバンクの預金は、すべてルーブル建てとなっている。個人向けには普通預金と定期預金の二種類のサービスを提供している。同行における個人預金の残高は、**2019 年末時点で 3,911 億ルーブル**（前年比 **+24.4%**）であり、このうち普通預金が **1,420 億ルーブル**、定期預金が **2,491 億ルーブル**となっている¹⁶。口座開設の申し込みは、郵便局内のポストバンクの窓口およびポストバンクのカスタマーセンター、またはオンラインを通して行うことが可能である。

● 普通預金

ポストバンクは、普通預金として「基本プラン」と「優遇プラン」を提供している。預金額は 1 ルーブル以上であれば自由に設定可能である。開設した口座はポストバンクが発行するデビットカードと連動しており、このカードを利用して支払いや現金の引き出しを行うことができる。「優遇プラン」は、ポストバンクに年金の受給口座を開設している者（年金者）、給与の振込口座を開設している者（給与者）、同行にオンラインで口座を開設した者、および、同行が発行するデビットカードもしくは同行のオンラインによる支払額が 1 カ月あたり **10,000 ルーブル**以上の者（アクティブ）、に提供される（図表 12）。

顧客の口座預金残高に対しては、図表 12 に示されている金利（年利）が月割りで支払われる。下記の付帯サービスは全利用者に対して無料で提供される。

- ・ 普通預金口座の開設と利用
- ・ デビットカードの発行と利用
- ・ モバイル・インターネットバンキングの利用
- ・ 普通預金口座からの他のポストバンク口座への振込手数料
- ・ モバイル・インターネットバンキングを利用した、他銀行のカードによるポストバンク口座への振込手数料（振込額 **3,000 ルーブル**以上）
- ・ ポストバンクや VTB 銀行グループの ATM、郵便局におけるポストバンクの営業窓口での現金引き出し / 預け入れ手数料

¹⁶ ポストバンク 「2019 年決算報告」 p. 43
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

● 定期預金

ポストバンクは預金者の利用用途に合わせ、図表 13 に示す 4 つの定期預金プランを用意している。普通預金の「優遇プラン」の条件を満たす預金者（年金受給口座開設者等）に対しては、すべての定期預金プランに関して+0.25%p.a.の追加利子が支払われる。

図表 12：ポストバンクの個人向け普通預金口座

口座預金残高（ルーブル）	金利			
	基本プラン	優遇プラン		
		アクティブ	給与者	年金者
1 – 999.99	0%	0%	0%	0%
1,000 – 49,999.99	0%	0%	0%	3%
50,000 以上	3%	4%	4% (5%*)	4% (5%*)

(注) * 同行が発行するデビットカード、もしくは同行のオンラインによる前月 1 カ月間の支払額が 10,000 ルーブル以上の場合。

(出所) ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/sberschet>（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

図表 13：ポストバンクの個人向け定期預金：3 つの定期預金プラン

プラン型	金利・条件等	最低預金額 (ルーブル)	金利		
			6 カ月	12 カ月	18 カ月
プラン 1 Capital (Kapitalnyi)	- 追加預金可能期間：口座開設から 10 日以内 - 利子の支払い：期限満了時 - 期限前解約時の適用金利：0.01% - 年金受給口座保有者等に対する追加利子：+0.25%	50,000 – 99,999.99 100,000 – 499,999.99 500,000 – 2,999,999.99 3,000,000 –	3.45% 3.65% 3.65% 3.65%	3.55% 3.75% 3.75% 3.75%	3.45% 3.65% 3.65% 3.65%
プラン 2 Profitable (Dohodnyi)	- 追加預金可能期間：口座開設から 10 日以内 - 利子の支払い：毎月 - 期限前解約時の適用金利：0.01% - 年金受給口座保有者等に対する追加利子：+0.25%	100,000 – 499,999.99 500,000 – 2,999,999.99 3,000,000 –	—	3.25% 3.45% 3.45%	—
プラン 3 Accumulative (Nakopitelnyi)	- 追加預金可能期間：制限なし - 利子の支払い：3 カ月ごとに複利として預金残高に加算 - 期限前解約時の適用金利：0.01% (最後の利子支払い後、解約時までの期間が対象) - 年金受給口座保有者等に対する追加利子：+0.25%	5,000 –	—	3.35%	—
プラン 4 Postal (Pochtovy)	- 追加預金可能期間：口座開設から 10 日以内 - 利子の支払い：期限満了時 - 期限前解約時の適用金利：0.01% - 年金受給口座保有者等に対する追加利子：+0.25% - 本サービスは、ポストバンクの営業窓口が存在しないロシア郵便の郵便局でのみ提供される	50,000 – 100,000,000	3.65%	3.75%	—

(出所) ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/active> "collection of tariffs for individual client valid from 09/07/2020"（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

(2) 資金運用業務概要

2019 年の決算報告書によると、ポストバンクの資産運用は個人や法人へのローンなどのクレジット商品の提供による受取利息および手数料収入が主要な収益源となっており、有価証券や外貨為替による資金運用は行われていない¹⁷。

(3) 送金・決済業務概要¹⁸

● 国内送金

ポストバンクは普通預金口座からの送金サービスを提供している。送金の際にかかる手数料は図表 14 のようになっている。

● 海外送金

ポストバンクに普通預金口座を持つ個人は、ウェスタンユニオンの決済システムを通じて海外への送金を行うことができる。送金先口座の所在国に応じた手数料が設定されており、送金はルーブル建てで行われる。海外送金に対する手数料や諸条件の詳細は図表 15 のとおりである。

● 決済業務

ポストバンクでは現金または同行のカード、他銀行のカードを利用した携帯電話の通話料やテレビの受信料、インターネット利用料、公共料金などの支払いを支援するサービスを提供している。公共料金、テレビの受信料、インターネット利用料、携帯電話の通話料、その他有料サービスの支払いにおいては、ポストバンクのカードを利用することにより手数料が優遇される特典を用意し、同行の顧客を優遇するサービスを行っている。ただし、このようなサービスは銀行と契約を結んだ業者に対する決済に対してのみ適応される。それぞれの料金の支払いの際の手数料は、図表 16 のとおりである。

図表 14：ポストバンクの国内送金手数料

送金の種類		手数料
ポストバンクの口座への送金		無料
他銀行の口座への送金	ポストバンクの窓口・ATM 利用	0.5% (最低 15/最高 1,000 ルーブル)
	モバイル・インターネットバンキングによる送金	0.7% (最低 30/最高 1,200 ルーブル)
国家予算(国家年金基金等を含む)への送金		無料

(出所) ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/active> ” collection of tariffs for individual client valid from 09/07/2020” (閲覧日：2020 年 9 月 11 日)

¹⁷ ポストバンク 「2019 年決算報告」 p. 10

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf (閲覧日：2020 年 9 月 11 日)

¹⁸ ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/transfers> (閲覧日：2020 年 9 月 11 日)

図表 15 : ポストバンクの海外送金手数料及び制限事項

送金先口座の所在国と送金に対する手数料			
送金先口座の所在国		送金額(ルーブル)	手数料(ルーブル)
近隣国	アゼルバイジャン・ベラルーシ・ジョージア・ カザフスタン・キルギス・モルドバ・タジキスタン・ トルクメニスタン・ウズベキスタン・ウクライナ・ラトビア・ リトアニア・エストニア・チェコ・イスラエル・トルコ	100 – 10,000	150
		10,000 –	送金額の 1.5%
遠方国	近隣国と中華人民共和国(香港/マカオ含む)・ 台湾・モンゴル・ベトナムを除くすべての対象国・地域	100 – 5,000	125
		5,000 –	送金額の 2.5%
中華人民共和国(香港/マカオ含む)・台湾・ モンゴル・ベトナム		100 – 25,000	250
		25,000.01– 50,000	500
		50,000.01 – 75,000	800
		75,000.01 –	1,000
海外送金受取手数料		無料	

送金に関する制限事項		
最少送金額(1 回あたり)	100 ルーブル	
最大送金額(1 回あたり)	150,000 ルーブル 300,000 ルーブル	
— カザフスタン・キルギス・中華人民共和国・香港・ベトナム — その他の国		
一定期間内の最大送金額(すべての国)	1 日あたり	5,000ドル相当額
	1 カ月あたり	10,000ドル相当額
一定期間内の最大送金額(カザフスタン・キルギス・中華人民 共和国・香港・ベトナム: 上記規定に追加的に適用)	1 カ月あたり	150,000 ルーブル
一定期間内の送金受取最大額	1 カ月あたり	15,000ドル相当額
一定期間内の送金受取最大回数	1 カ月あたり	10 回
備考: 送金の受け取りはルーブル建てで行われる。ドルからルーブルへの換算レートには、送金実施日のロシア中銀発表の公定レート が用いられる。		

(出所) ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/transfer/westernunion> “Tariffs for sending and receiving money
transfers through the Western Union payment system” (閲覧日: 2020 年 9 月 11 日)

図表 16 : ポストバンクの決済手数料

支払い対象	支払方法別手数料(%)			
	ポストバンク カード	現金	モバイル・インター ネットバンキング	他銀行カード
公共料金、テレビの受信料、インターネット利用 料、携帯電話通話料、その他有料サービス	*	*	*	支払額の 3% (ただし、20 ルーブル以上)

* 手数料は、支払方法別および支払先別にポストバンクが設定し、決済前に顧客に通知される。ポストバンクにおける年金受給口座保有
者等については、手数料はゼロとなる。

(出所) ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/active> ” collection of tariffs for individual client valid from
09/07/2020” (閲覧日: 2020 年 9 月 11 日)

(4) クレジット商品取扱業務概要

ポストバンクは、クレジットカードやローン業務において、幅広い顧客層をターゲットとした商品を取り扱っている。なお、**2019** 年末時点の顧客向け貸出残高は **389,514 百万**ルーブルであり、このうち現金貸出および小売店舗で提供される消費者ローンが **94.8%**を占めている（図表 17）¹⁹。

● クレジットカード

ポストバンクは顧客に対し、Visa カード 4 種類、Master カード 1 種類、ロシア独自の決済システム「ミール（Mir）」に対応したクレジットカード 1 種類の計 6 種類のクレジットカードを提供している²⁰。

● 現金ローン

ポストバンクの提供する現金ローンは、延滞なく返済を行った顧客に対して、支払われた利息の一部を還付する「無延滞還付サービス」が提供される点が特徴的である。延滞なく返済を行った顧客は、ローン完済時に、支払った利息と、無延滞還付サービス金利による利息および同サービス手数料の合計額との差額を還付される（図表 18）。

図表 17：ポストバンクの顧客向け貸出状況（2019 年末）

顧客向け貸出残高	2019 年 百万ルーブル	比率
現金貸出・小売店での消費ローン利用 Cash loans, Credits in retail outlets / Кредиты наличными и Кредиты в торговых точках	389,514	94.8%
クレジットカード利用 Credit cards / Кредитные карты	21,446	5.2%
顧客向けローン合計 Total loans to customers / Итого кредиты клиентам	410,960	100.0%
貸倒引当金差引 Less provision for impairment / За вычетом резерва под обесценение	-55,177	
顧客向けローン（ネット）合計 Loans to customers / Кредиты клиентам	355,783	

（出所）ポストバンク「2019 年決算報告」 p. 33（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf

図表 18：ポストバンクの現金ローン

“Super Postal”（Суперпочтовый）		
借入可能額（ルーブル）		50,000 – 4,000,000
金利 （年率）	通常	11.9%, 12.9%, 13.9%, 14.9%, 15.9%, 16.9%, 17.9%, 19.49%, 19.9%
	無延滞金利還付サービス金利	9.9%
無延滞還付サービス手数料		借入額の 0.9%（通常金利が 11.9%, 12.9% の場合） 借入額の 1.9%（通常金利が 13.9%, 14.9% の場合） 借入額の 6.9%（通常金利が 19.49%, 19.9% の場合）
返済期間		36 – 60 カ月
ローン審査期間		7 暦日

（出所）ポストバンクウェブサイト（<https://www.pochtabank.ru/service/active> “collection of tariffs for individual client valid from 09/07/2020”（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

¹⁹ ポストバンク 「2019 年決算報告」 p. 33

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

²⁰ ポストバンクウェブサイト https://www.pochtabank.ru/service/compare_cards?type=credit（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

4. 会計基準と財務諸表

ポストバンク（2016 年設立）、およびその前身のレト銀行（2012 年設立）の財務諸表は以下の通りである。いずれも IFRS に基づく連結ベースの財務諸表となっている。

図表 19：ポストバンクの連結損益計算書（各年 12 月期、100 万ルーブル）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
受取利息	4,036	10,701	11,904	17,204	32,802	50,938	66,116
支払利息	-901	-3,019	-5,046	-6,583	-12,740	-18,684	-25,833
正味受取利息	3,135	7,682	6,858	10,621	20,062	32,254	40,283
貸倒引当金	-2,348	-9,195	-9,780	-5,364	-7,721	-16,115	-22,609
貸倒引当金控除後の正味受取利息	787	-1,513	-2,922	5,257	12,341	16,139	17,674
手数料収入	47	3,000	6,775	10,187	16,301	27,301	34,763
手数料費用	-198	-501	-497	-895	-1,917	-2,471	-3,790
その他の費用			-43	-26	-29	-107	58
非利息収入	-72	2,626	6,235	9,266	14,355	24,723	31,031
人件費	-2,850	-3,785	-4,622	-7,040	-12,308	-16,357	-19,798
減価償却費	-190	-510	-644	-781	-2,298	-1,528	-3,137
その他管理費			-3,388	-5,192	-10,215	-16,812	-17,341
非利息費用	-5,117	-7,676	-8,654	-13,013	-24,821	-34,697	-40,276
税引前利益	-4,402	-6,563	-5,341	1,510	1,875	6,165	8,429
法人税等	925	1,313	1,068	-302	-375	-1,245	-1,606
包括的利益合計	-3,477	-5,250	-4,273	1,208	1,500	4,920	6,823

（注）2013～2015 年はレト銀行、2016 年以降はポストバンク

（出所）ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/about/data> 2019 年は

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf P.10（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

図表 20：ポストバンクの連結貸借対照表（各年 12 月期、100 万ルーブル）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
資 産	34,173	53,100	64,074	114,205	247,864	360,454	471,569
現金及び現金同等物	2,975	2,660	2,744	10,006	31,299	27,063	27,044
ロシア中銀への準備金	5	25	79	1,119	1,074	2,178	2,835
信用機関への貸付	1	45	82	173	23,026	47,103	62,023
顧客への貸付	26,788	43,950	53,433	90,870	177,651	264,317	355,783
有形および無形固定資産	1,791	2,407	2,449	6,741	8,122	10,963	15,287
繰延税金資産	1,243	2,471	3,448	3,148	2,774	3,938	2,929
その他資産	1,369	1,543	1,849	2,148	3,918	4,892	5,668
負 債	27,835	43,449	50,521	94,683	220,293	329,110	423,347
信用機関からの借入	26,623	41,470	45,717	53,381	38,352	-	-
顧客口座	7	33	2,976	36,622	170,157	315,274	391,696
繰延税金負債	177	92	-	-	-	-	-
極東・バイカル地域発展基金からの借入					3,001	-	-
その他負債	10,27	1,853	1,828	2,680	5,083	6,031	13,016
劣後債	-	-	-	2,000	3,700	7,805	18,635
資 本	6,339	9,652	13,554	19,522	27,571	31,344	48,222
株式資本	325	325	325	420	531	629	779
資本剰余金	213	213	213	4,998	11,596	17,698	27,430
利益剰余金(累積欠損金)	-3,955	-9,205	-13,479	-12,271	-10,811	-13,156	-9,950
その他資産	9,757	18,320	26,495	26,375	26,255	26,173	26,173

（注）2013～2015 年はレト銀行、2016 年以降はポストバンク。

（出所）ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/about/data> 2019 年は

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf P.10（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴

1. 金融セクターにおけるリテール金融機関の位置付け

ロシア中銀は 2015 年以降、総資産規模や個人預金の受け入れ額などの指標に基づいて、リテール銀行の一部を「金融システム上重要な信用機関」に指定しており、現在は下記の表に示す 11 の銀行が指定されている（図表 21）²¹。ロシア中銀によれば、「金融システム上重要な信用機関」に指定されたリテール銀行の総資産の合計は、ロシアの全信用機関の総資産合計の 60%超を占めている。なお、ロシア中銀は公式には表明していないが、「金融システム上重要な信用機関」に指定されたリテール銀行が債務不履行に陥った際には、公的資金による救済が行われる可能性がきわめて高いとみられている。

図表 21：金融システム上重要な信用機関

1	UniCredit Bank（ユニクレディット銀行）
2	GAZPROMBANK（ガスプロム銀行）
3	VTB Bank（VTB 銀行）
4	ALFA-BANK（アルファ銀行）
5	Sberbank（ズベルバンク）
6	CREDIT BANK OF MOSCOW（モスクワ信用銀行）
7	Bank FC Otkritie（オトクリティエ FC 銀行）
8	ROSBANK（ロス銀行）
9	Promsvyazbank（プロムスビヤジバンク）
10	Raiffeisenbank（ライフアイゼンバンク）
11	Russian Agricultural Bank（ロシア農業銀行）

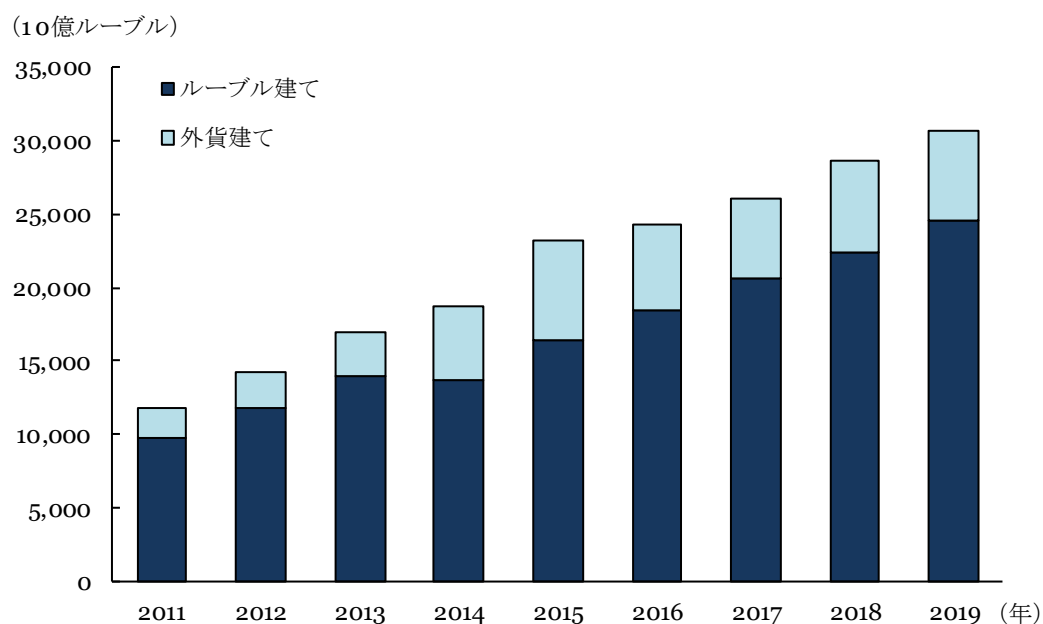
（出所）ロシア中央銀行 Press Service “On Approved List of Systemically Important Credit Institutions”
https://www.cbr.ru/eng/press/PR/?file=15102019_161049eng2019-10-15T16_04_40.htm
（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

（1）預金等の受け入れ

ロシアにおける個人預金残高は、右肩上がりに増加している（図表 22）。個人預金残高に占める外貨建て預金の割合は、2011～2013 年には約 20%で推移していたが、2014～2015 年には急上昇した（図表 23）。この 2014～2015 年の外貨預金の割合の急上昇は、原油価格の急落に伴うルーブルの暴落によって、外貨建て預金残高のルーブル評価額が急増したことによるとみられる（図表 24）。2016～2017 年には、原油価格の持ち直しに伴いルーブル・レートも上昇し、外貨建て預金の割合は再び 20%台前半にまで低下した。

²¹ 現在、「金融システム上重要な信用機関」のリストに含まれる 11 行のうち、CREDIT BANK OF MOSCOW を除く 10 行は、当初から同リストに含まれていた（CREDIT BANK OF MOSCOW のみ 2017 年に新たにリスト入り）。なお、「金融システム上重要な銀行」の選定基準については、2015 年 7 月 22 日付ロシア中央銀行指令 No.3737 <http://docs.cntd.ru/document/420294323>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）で規定されているが、2020 年 1 月に基準の見直しに着手することが公表されている（<https://bankofrussia.org/the-bank-of-russia-proposes-to-discuss-the-changing-approaches-to-the-identification-and-regulation-of-systemically-important-banks/>）。

図表 22：個人預金残高の推移

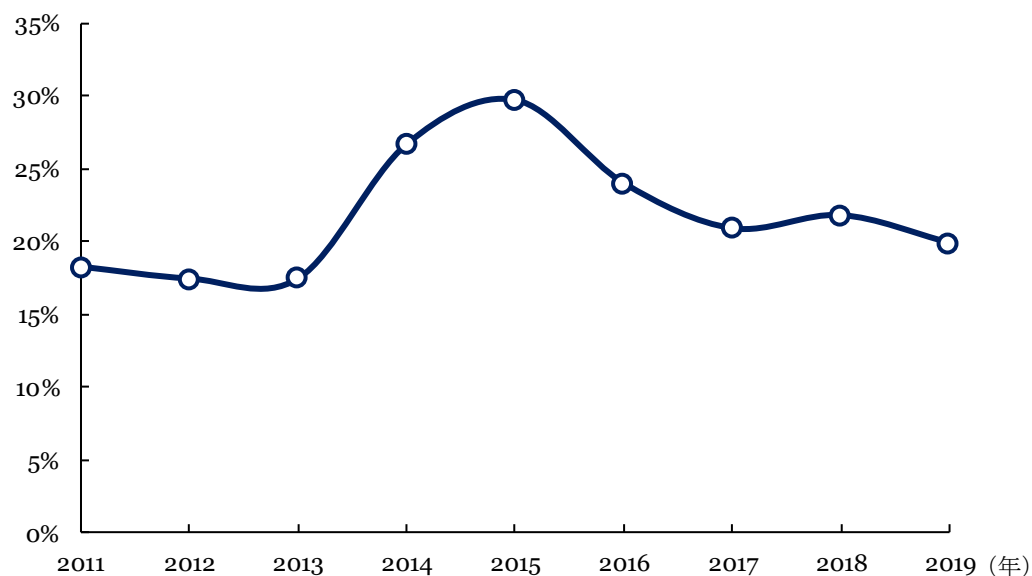


(注) 各年末残高。

(資料) ロシア中央銀行 “Funds of Organizations, Deposits and Other Funds of Legal Entities and Individuals (total for the Russian Federation)”

<https://www.cbr.ru/Eng/statistics/?PrtId=sors> (閲覧日：2020年2月28日)

図表 23：個人預金残高に占める外貨建て預金の割合

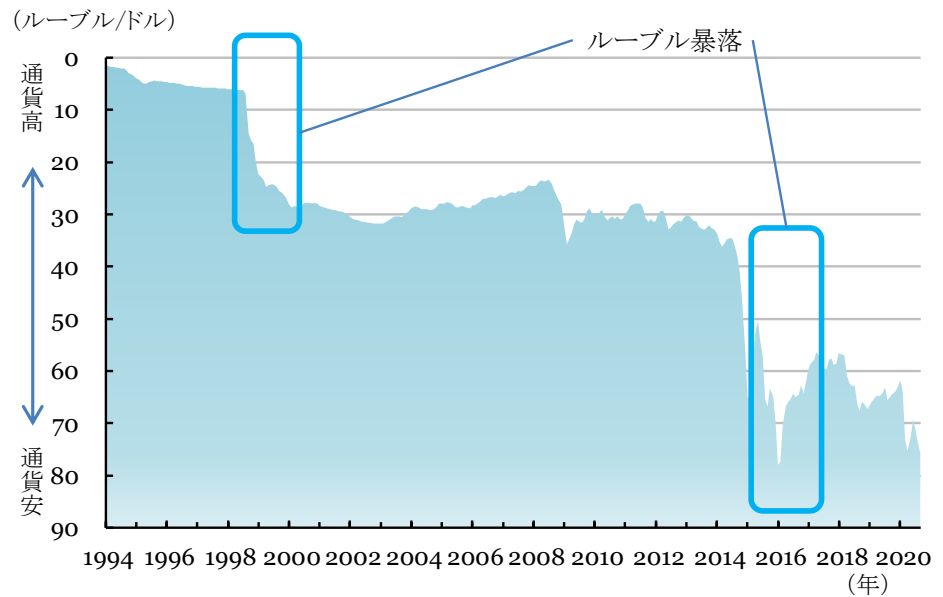


(注) 各年末時点。

(資料) ロシア中央銀行 “Funds of Organizations, Deposits and Other Funds of Legal Entities and Individuals (total for the Russian Federation)”

<https://www.cbr.ru/Eng/statistics/?PrtId=sors> (閲覧日：2020年2月28日)

図表 24：ルーブル/ドルレートの推移



(出所) ロシア中央銀行 (閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

(2) 資金の貸出等

2014 年初めのウクライナ情勢緊迫化により資本流出が進み、ロシアの景気は停滞していたが、7 月の欧米諸国の制裁強化、原油価格や資源価格の低迷、ルーブル安の進行等により、景気は大幅に悪化した。この影響を受け、2015、16 年は銀行の自動車ローンなどの消費関連ローンが前年比マイナスとなった(図表 25)。これに対し住宅ローンは、政府によるローン金利の補助が行われたことや、母親資本(少子化対策として第 2 子以上を生んだ場合に国から支給される補助金)が利用できることなどから、堅調な動きを示した。2017 年からは、原油価格の持ち直しを背景に景気が緩やかに回復したのに伴い、消費関連ローンも増加基調に転じている。

図表 25：個人向け貸出残高の推移

		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
住宅ローン	残高(10 億ルーブル)	2,094	2,718	3,593	3,690	4,436	5,180	6,456	7,559
	前年比増加率%	34.9%	29.8%	32.2%	10.2%	12.0%	16.8%	24.6%	17.1%
自動車ローン	残高(10 億ルーブル)	749	915	891	688	596	685	791	931
	前年比増加率%	22.0%	22.3%	-2.6%	-22.8%	-13.4%	14.9%	15.5%	17.7%
その他 消費者ローン	残高(10 億ルーブル)	4,472	5,872	6,393	5,598	5,425	6,021	7,386	8,926
	前年比増加率%	53.0%	31.3%	8.9%	-12.4%	-3.1%	11.0%	22.7%	20.8%
個人向け ローン全体	残高(10 億ルーブル)	7,315	9,505	10,877	10,247	10,458	11,886	14,633	17,415
	前年比増加率%	43.7%	29.9%	14.4%	-5.8%	2.1%	13.7%	23.1%	19.0%

(注) 各年末時点。

(出所) ロシア中央銀行資料 “Review of the Banking Sector of the Russian Federation” No.208 February 2020
<https://www.cbr.ru/eng/analytics/bnksyst/> (閲覧日：2020 年 2 月 28 日)

2. 主要リテール銀行の特徴

以下では、ポストバンク、および 2019 年末時点の総資産が上位 5 行の銀行について、リテール銀行業務を中心に概況をまとめる。

(1) ポストバンク

1) ポストバンクの特徴

前述のとおり、ポストバンクは 2016 年の発足後、大幅な成長を続けている。同行の 2019 年末時点における顧客の預金残高は約 3,917 億ルーブルと、前年同期の約 3,153 億ルーブルから +24.2% の増加となった（図表 20）²²。また、同行の顧客数は、2018 年末時点の約 1,000 万人から、2019 年末時点には約 1,340 万人へと増加した。

ポストバンクはロシアにおけるリテール大手である VTB 銀行の高度な金融サービス（住宅ローン等）をロシアポストが有する豊富な拠点を通して行きわたらせる役目を担っている。特に、ポストバンクの全営業拠点（2019 年末時点で約 19,000 カ所）のうち、86% 超は農村部および人口が 10 万人未満の小規模な都市に位置することから、これまでアクセスが悪く金融サービスから疎外・排除されていた地域の住民や企業に対しても、都市部とそん色ないサービスを提供することが期待されている。

2) 金融市場の中でのポストバンクの競争力

ポストバンクの競争力は、その非常に広範なリテールネットワークにある。同行は、ロシア郵便の郵便局内に持つ営業窓口を中心に、国内の 83 の連邦構成主体に約 19,000 の営業拠点を有している。同行は、広範なリテールネットワークを活かした個人向けサービスを強化しており、公共料金、テレビの受信料、インターネット利用料、携帯電話通話料、その他有料サービスの支払時における同行のカード利用による手数料の優遇や、クレジット関連商品に関して延滞なく返済を行った顧客に対する低利率ローンの提供、同行における年金受給口座開設者等に対する特典の供与（預金金利や貸出金利の優遇）等、ニーズに応じたサービスを提供している。

(2) Sberbank（ズベルバンク）

1) Sberbank（ズベルバンク）の特徴

ズベルバンクは、1987 年に設立されたロシアの商業銀行である。当初は国営の住民貯蓄銀行として設立されたが、現在はリテール、ホールセールのいずれも取扱い、国際業務にも注力している。同行のアンニュアルレポートによれば、2019 年末時点の貸出残高の内訳は、企業向けが 63.8%、個人向けが 36.2% となっており、貸出業務においてはリテールよりもホールセールに注力している²³。ロシアを含む 18 カ国に拠点をもち、日本との関わりとしては、みずほ銀行、北海道銀行と業務協力協定を締結している。また、JCB と提携し、2018 年より順次、ロシア国内の同行の

²² ポストバンク 「2019 年決算報告」

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_IFRS_12M2019.pdf（閲覧日：2020 年 9 月 11 日）

²³ ズベルバンク 「アンニュアルレポート 2019」 p136（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

<https://www.sberbank.com/common/img/uploaded/files/pdf/yrep/sberbank-ar19-eng.pdf>

カード加盟店で JCB カードの取り扱いが開始されている²⁴。

ズベルバンクは 1996 年にロシア株式市場に上場し、モスクワ証券取引所第 1 部リストに含まれている²⁵。2019 年末時点において、普通株の米国預託証券 (ADR) がロンドン証券取引所およびフランクフルト証券取引所に上場されており、米国の OTC マーケットでの取引も認められている。2019 年 4 月 29 日時点の主要株主はロシア中銀 (50.0%+1 株) であり、唯一 50%以上の株式を保有している。その他は海外法人が 45.04%、国内法人が 1.81%、個人投資家が 3.15%の株式を所有しており、株主の総数は 25 万 3,700 となっている²⁶。その後 2020 年 4 月に、ロシア中銀の持ち分が連邦政府に売却された²⁷。

ズベルバンクは個人向けデジタルバンキングに注力しているが、デジタル戦略の総仕上げとして、2020 年 9 月に銀行名およびロゴから「バンク」を削除し、ズベルと変更した²⁸。「銀行を超える銀行」を目指すとしている。

2) 金融市場の中での Sberbank (ズベルバンク) の競争力

ズベルバンクはロシア最大の商業銀行であり、国内の 83 の連邦構成主体に約 14,200 の支店を持つ²⁹。2019 年末時点の同行の総資産は、ロシアの銀行部門全体の総資産の 30%超を占め、ロシアにおける個人預金残高の約 44%は同行に集中している³⁰。ロシアの個人向けおよび法人向け貸出残高に占める同行のシェアは、それぞれ 41%、31%超に達する。同行のロシア国内における個人の顧客数は約 9,690 万人であり、法人顧客数は約 260 万である。このように Sberbank は、貸出・預金残高の規模において、後述するロシア国内第 2 位の VTB 銀行を大きく引き離し、国内随一の規模を誇る。

(3) VTB Bank (VTB 銀行)

1) VTB Bank (VTB 銀行) の特徴

1990 年 10 月、VTB 銀行は、ロシアの対外経済取引を行い、また国の国際経済への統合を促進することを目的に、ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国国立中央銀行および財務省によって設立された。2002 年には、ロシア連邦政府が中央銀行の VTB 株式を買収し、VTB 銀行の最大株主となった。VTB 銀行は 2004 年に Gута Bank を買収し、2005 年には同行を VTB24 銀行というリテール銀行に再生させた。2007 年にはロシアの銀行としては初の IPO を行い、80 億ドルの資金調達を行った。その後、2011 年にロシア連邦政府が株式の 10%を民間に売却して部分的民営化を実施し、2013 年に VTB 銀行が 2 度目の株式追加発行を実施した結果、ロシア連

²⁴ ズベルバンク 「アニュアルレポート 2018」 p.36 (閲覧日: 2020 年 9 月 14 日) <https://www.sberbank.com/investor-relations/financial-results-and-presentations/annual-reports>

²⁵ ズベルバンクウェブサイト “About Us: Shareholders” <http://www.sberbank.com/about> (閲覧日: 2020 年 9 月 14 日)

²⁶ ズベルバンク 「アニュアルレポート 2019」 p121,122 (閲覧日: 2020 年 9 月 14 日)

<https://www.sberbank.com/common/img/uploaded/files/pdf/yrep/sberbank-ar19-eng.pdf>

²⁷ ロシア中央銀行ウェブサイト http://www.cbr.ru/eng/press/PR/?file=10042020_141349eng2020-04-10T14_13_19.htm (閲覧日: 2020 年 10 月 1 日)

²⁸ https://www.sberbank.ru/en/press_center/all/article?newsID=9134b8a3-76db-48ff-858f-ae998dbc9655&blockID=1539®ionID=77&lang=en&type=NEWS (閲覧日: 2020 年 11 月 27 日)

²⁹ ズベルバンクウェブサイト https://www.sberbank.com/index?_ga=2.175871462.551975945.1600061752-829223382.1599722109 (閲覧日: 2020 年 9 月 14 日)

³⁰ ズベルバンク 「アニュアルレポート 2019」 p28 (閲覧日: 2020 年 9 月 14 日)

<https://www.sberbank.com/common/img/uploaded/files/pdf/yrep/sberbank-ar19-eng.pdf>

邦政府の持株比率（議決権を伴う普通株）は 85.5% から 60.93%に低下した³¹。

2016 年 10 月に発表された 2017 年から 2019 年までの 3 カ年計画³²に基づき、2018 年 1 月に VTB 銀行と VTB24 銀行は合併した。3 カ年計画では、この合併により VTB グループの業績が大きく向上することが目指されている。

なお、VTB 銀行は、独立国家共同体（CIS）ではアルメニア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、アゼルバイジャンに、CIS 以外ではオーストリアやドイツ等にネットワークを持つ³³。

2019 年末時点で、VTB 銀行はモスクワ証券取引所に上場しているほか、普通株のグローバル預託証券（GDR）がロンドン市場（LSE）に上場されている³⁴。2019 年 12 月 31 日時点で、同行の株式（議決権を伴わない優先株を含む）の 92.2%は国が所有しており、その内訳はロシア連邦政府が 45.0%（うち、ロシア連邦国家資産管理局が 12.1%、ロシア連邦財務省が 32.9%）、預金保険公社が 47.2%となっている³⁵。

2) 金融市場の中での VTB Bank（VTB 銀行）の競争力

2019 年末時点の VTB 銀行の総資産は 15 兆 5,161 億ルーブルであった。貸出残高は 11 兆 4,615 億ルーブルで、このうち個人向け貸出残高が 3 兆 3,653 億ルーブル（同行の貸出残高の 29.4%）であった。預金残高は 10 兆 9,742 億ルーブルで、このうち個人による預金残高が 5 兆 380 億ルーブル（同行の預金残高の 45.9%）であった³⁶。

(4) Gazprombank（ガスプロム銀行）

1) Gazprombank（ガスプロム銀行）の特徴

ガスプロム銀行は 1990 年、ガス産業企業への金融サービスの提供を目的として、世界最大のガス生産・輸出企業であるガスプロム（Gazprom）によって設立された。現在、約 45,000 の法人顧客と約 400 万人の個人顧客に幅広い金融・投資サービスを提供しており、ホールセール、リテールの双方において成長を遂げている。ガス、石油、電力、金属等、ロシア経済の基幹産業に多くの法人顧客を有し、社債発行のアレンジやコーポレートファイナンス等の投資銀行業務においては業界をけん引する立ち位置にある。ロシア国内で 20 支店と 350 を超える営業事務所を展開しているほか、海外ではベラルーシ、スイス、ルクセンブルクの銀行に資本参加しており、カザフスタン、中国、モンゴル、インドに代表事務所を持つ³⁷。

2) 金融市場の中での Gazprombank（ガスプロム銀行）の競争力

³¹ VTB 銀行ウェブサイト “History” <https://www.vtb.com/group/history/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³² VTB 銀行ウェブサイト “VTB Group's development strategy for 2017-2019”
<https://www.vtb.com/group/strategy/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³³ VTB 銀行ウェブサイト “About VTB Group”
<https://www.vtb.com/o-banke/gruppa-vtb/skhema-gruppy/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³⁴ VTB 銀行ウェブサイト “VTB in indices”
<https://www.vtb.com/akcionery-i-investory/akcii-i-dividendy/vtb-v-indeksah/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³⁵ VTB 銀行ウェブサイト “Shareholder capital structure”
<https://www.vtb.com/ir/disclosure/structure/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³⁶ VTB 銀行 「2019 年決算報告」 p.13, 37, 56（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）
<https://www.vtb.com/akcionery-i-investory/finansovaya-informaciya/raskrytie-finansovoj-otchetnosti-po-msfo/>

³⁷ ガスプロム銀行ウェブサイト “О Банке” <https://www.gazprombank.ru/about/index.php>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

2019 年末時点のガスプロム銀行の総資産は 6 兆 5,822 億ルーブル、貸出残高は 4 兆 4,696 億ルーブル、預金残高は 4 兆 9,685 億ルーブルであった。個人向け貸出残高は 6,080 億ルーブル（同行の貸出残高の 13.6%）、個人預金残高は 1 兆 2,200 億ルーブル（同行の預金残高の 24.6%）であった³⁸。

(5) Alfa Bank（アルファ銀行）

1) Alfa Bank（アルファ銀行）の特徴

アルファ銀行は 1990 年に創設された、法人、リテール、貸付、預金、決済サービスを扱う総合銀行であり、民間資本の銀行としてはロシア最大である。アルファ銀行グループの本店はモスクワにあり、内外支店数は 752 に上る。うち海外はオランダに子銀行、英国とキプロスに金融子会社を有する。従業員数は 2 万 4,000 人を超え、顧客数は個人が 1,610 万人、法人が 53 万社を超える。なお、2014 年に同行は再建中の Baltiyskiy Bank を公募入札により買収した³⁹。

2) 金融市場の中での Alfa Bank（アルファ銀行）の競争力

2019 年末時点のアルファ銀行の総資産は 3 兆 7,496 億ルーブル、貸出残高は 2 兆 5,288 億ルーブル、預金残高は 2 兆 6,417 億ルーブルであった。個人向け貸出残高は 6,591 億ルーブル（同行の貸出残高の 26.1%）、個人預金残高は 1 兆 2,941 億ルーブル（同行の預金残高の 49.0%）であった⁴⁰。

(6) Bank FC Otkritie（オトクリティエ農業銀行）

1) Bank FC Otkritie（オトクリティエ銀行）の特徴

オトクリティエ銀行は 1993 年に営業を開始し、法人、リテール、投資銀行業務、プライベートバンキングを扱う総合銀行である。2017 年に格付会社の格下げを受けて 6-7 月に 74 億ドル預金残高が減少したと伝えられた。これを受け、ロシア中銀は同年 8 月、システム上重要な銀行のうちの一行である同行の救済を決定し⁴¹、新たに設立した銀行救済ファンド⁴²を通じて同行の株式の 99.9%超を取得した上で、経営にも介入することとした⁴³。従来は、銀行が破たんした際は、ロシア中銀によるライセンス取消、業務停止、預金保険公社への移管、預金者への預金払い戻しという手続きが取られていたが、同行についてロシアで初めてロシア中銀によるベイルアウトが行われた。2019 年 1 月に B&N 銀行と合併した。

同行は、モスクワに本店を構え、国内 244 都市に 601 カ所の事務所を有し、顧客数は法人が 6,900、個人が 300 万である⁴⁴。2081 年 5 月に 2020 年までの 3 ヶ年

³⁸ ガスプロム銀行 「2019 年決算報告」 p. 14, 45, 55

https://www.gazprombank.ru/upload/files/iblock/ce1/GPB_IFRS_2019_12m_ENG.pdf（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

³⁹ アルファ銀行ウェブサイト “About Alfa Banking Group”

<https://alfabank.com/corporate-profile/about-us/about-us/>（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

⁴⁰ アルファ銀行 「2019 年決算報告」

https://alfabank.ru/about/annual_report/msfo/（閲覧日：2020 年 9 月 14 日）

⁴¹ ロシア中央銀行ウェブサイト

https://www.cbr.ru/press/PR/?file=29082017_190359eng2017-08-29T19_03_27.htm（閲覧日：2019 年 5 月 22 日）

⁴² 銀行部門健全化基金管理会社ウェブサイト <http://www.amfbc.ru/index.html>（閲覧日：2019 年 5 月 22 日）

⁴³ ロシア中央銀行ウェブサイト “Banking Supervision Report 2017” pp. 72-73

<http://www.cbr.ru/Eng/publ/?PrtId=nadzor>（閲覧日：2019 年 5 月 22 日）

⁴⁴ オトクリティエ銀行ウェブサイト（閲覧日：2020 年 9 月 15 日）

https://cdn.open.ru/storage/files/Investor_results_presentation_6m2020_RUS.pdf?_ga=2.15030070.1652915250.1600

経営計画が策定され、2020 年の純益を 680 億ルーブルに、2021 年に株式の 20% を売却することを目標としている⁴⁵。

2) 金融市場の中での Bank FC Otkritie（オトクリティエ銀行）の競争力

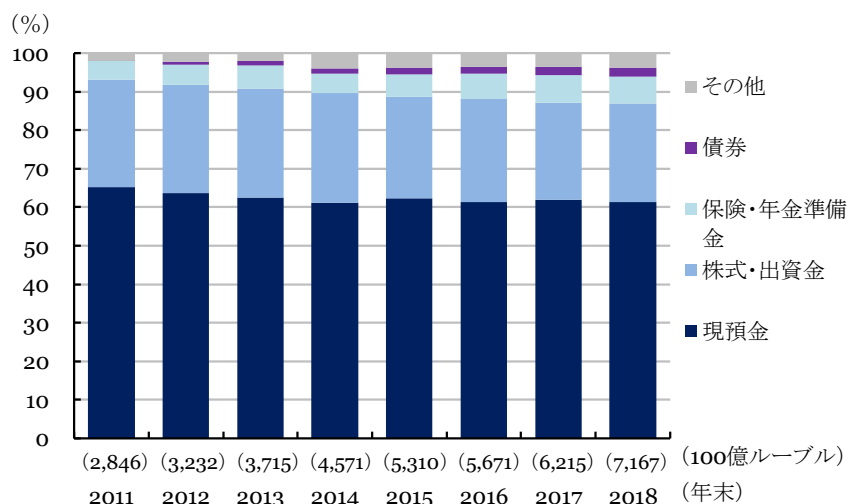
2019 年末時点のオトクリティエ銀行の総資産は 3 兆 2,636 億ルーブルであった。貸出残高は 1 兆 3,413 億ルーブルであり、このうち 73.6% (9,872 億ルーブル) が法人向け、26.4% (3,541 億ルーブル) が個人向けの貸出残高であった。預金残高は 1 兆 8,179 億ルーブルであり、このうち個人預金残高は 9,854 億ルーブル（預金残高全体の 54.2%）であった⁴⁶。

3. 家計の金融資産・負債の動向

ロシア国家統計庁が公表している金融資産・負債残高統計によると、2017 年末時点のロシアにおける現預金残高は約 94.4 兆ルーブルである⁴⁷。保有部門別の内訳をみると、家計部門（対家計民間非営利団体を含む）が 38.4 兆ルーブルと、全体の 40.7% を占めており、これに金融機関の 27.1 兆ルーブル（28.7%）、非金融企業の 19.8 兆ルーブル（21.0%）が続いている。

2018 年末時点で家計部門が保有する金融資産（71.7 兆ルーブル）の商品別構成は、現預金（44.0 兆ルーブル）が最大シェアの 61.4% を占め、続いて株式・出資金が 25.6%、保険・年金準備金が 7.1%、債券が 2.3%、その他が 3.7% となっている（図表 26）。

図表 26: 家計部門の金融資産の商品別構成の推移



（出所）ロシア国家統計庁ウェブサイト http://www.gks.ru/free_doc/new_site/vvp/bap_fin.htm
（閲覧日：2020 年 9 月 15 日）

224318-1110344865.1599725042

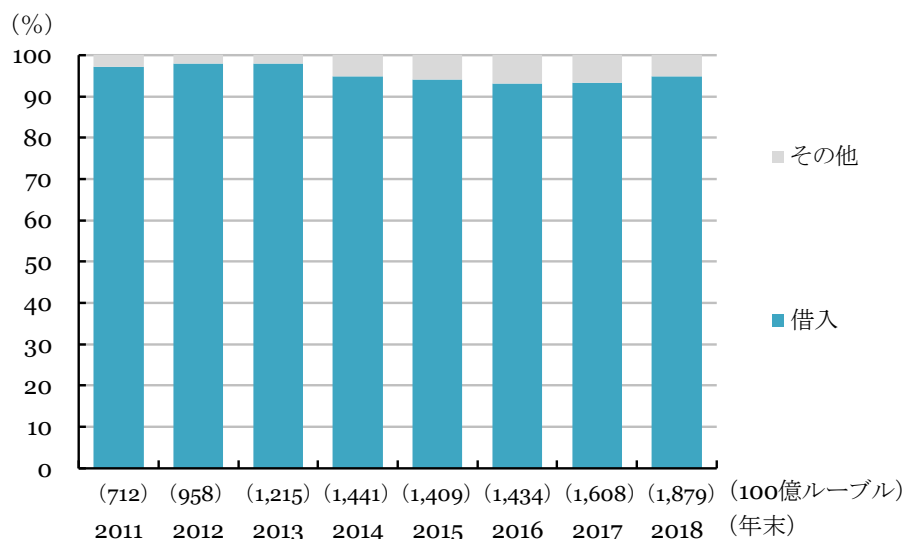
⁴⁵ オトクリティエ銀行ウェブサイト “Otkritie Bank Strategy 2020”
https://cdn.open.ru/storage/files/otkritie_strategy_ru.PDF?_ga=2.151475257.1652915250.1600224318-1110344865.1599725042（閲覧日：2020 年 9 月 15 日）

⁴⁶ オトクリティエ銀行ウェブサイト Bank press center（閲覧日：2020 年 9 月 15 日）
https://cdn.open.ru/storage/files/Group_BFCO_Press_Release_IFRS_2019_ENG.pdf

⁴⁷ ロシア国家統計庁ウェブサイト http://www.gks.ru/free_doc/new_site/vvp/bap_fin.htm（閲覧日：2020 年 9 月 15 日）

一方、2018 年末時点の家計部門の金融負債（18.8 兆ルーブル）の商品別構成は、借入（17.8 兆ルーブル）が最大シェアの 94.9%を占め、その他が 5.1%となっている（図表 27）。

図表 27: 家計部門の金融負債の商品別構成の推移



(出所) ロシア国家統計庁ウェブサイト http://www.gks.ru/free_doc/new_site/vvp/bap_fin.htm
 (閲覧日: 2020 年 9 月 15 日)

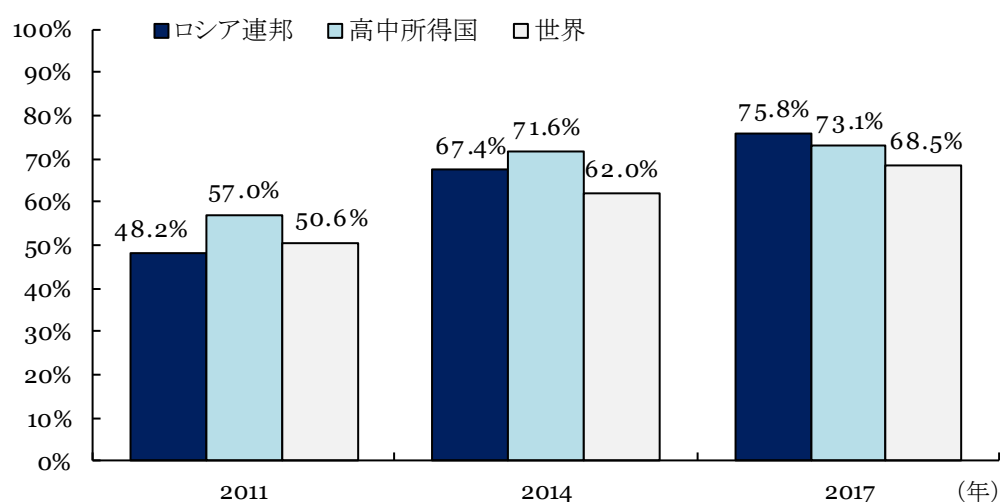
第5章 最近の金融動向と今後の展望

1. 最近の金融動向

(1) 金融サービスの利用状況

世界銀行の調査によれば、ロシアにおける口座保有率（15歳以上人口に占める、銀行またはその他金融機関に口座を保有する者の割合）は、2011年には48.2%と、ロシアと同じ高中所得国（Upper middle economies）の平均のみならず、全世界の平均をも下回っていたが、その後、2014年に67.4%、2017年には75.8%と急上昇し、2017年の口座保有率は、高中所得国の平均を上回るようになった（図表28）。

図表28：15歳以上人口に占める口座保有率



（注）世界銀行による高中所得国（Upper middle economies）の定義は1人あたり GNI（国民総所得）が3,955米ドル以上12,235米ドル未満の国・地域。
（資料）世界銀行“Global Findex Database 2017”

2017年にはロシア中央銀行内に心身障害者の金融包摂推進のためのワーキンググループが設置され、金融機関に対して障害者の金融サービスへのアクセス拡大のための勧告の取りまとめおよびその実施のモニタリングが行われている⁴⁸。2018年3月に、ロシア中央銀行は金融包摂促進戦略（2018～20年）を策定した⁴⁹。目的として、第一に、人口も少なく金融サービスへのアクセスが困難な遠隔地で、中小企業や障害者、高齢者の金融サービスの利用可能性や質の向上、第二に、インターネットを通じる金融サービスの速度や質の向上を掲げている。2018年8月に極東地域、2019年春には南部連邦管区および北カフカス連邦管区において、金融包摂推進のためのパイロットプロジェクトが稼働しており、金融サービス提供のインフラ整備を後押ししている⁵⁰。2019年4～11月には、中銀の支援のもとで金融機関や決済システムオペレーターが参

⁴⁸ ロシア中央銀行ウェブサイト <http://www.cbr.ru/eng/press/event/?id=7988>（閲覧日：2020年10月1日）

⁴⁹ ロシア中央銀行ウェブサイト http://www.cbr.ru/Content/Document/File/84497/str_30032018.pdf

⁵⁰ ロシア中央銀行「アニュアルレポート2018」p.160、「アニュアルレポート2019」p.185
http://www.cbr.ru/collection/collection/file/24037/ar_2018_e.pdf（閲覧日：2020年10月1日）
https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf（閲覧日：2020年12月2日）

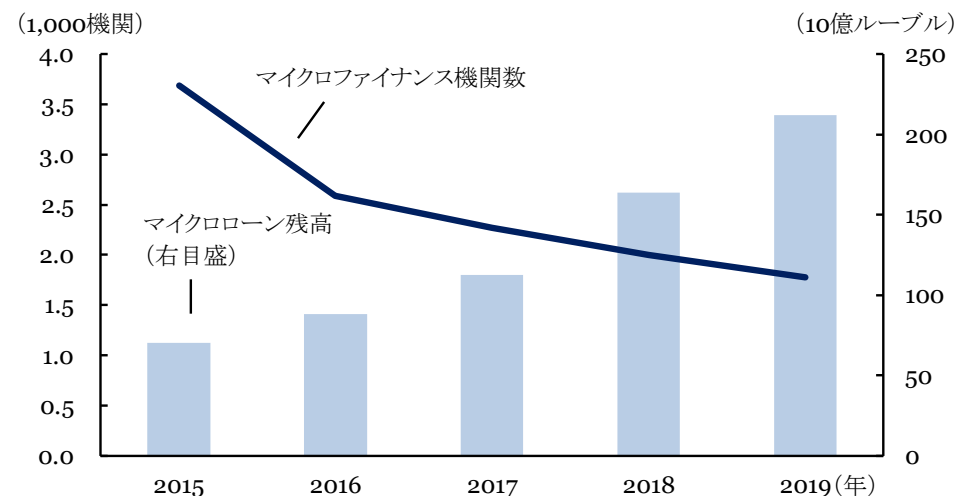
加して、ペイメントカード保有者に対して、POS ターミナルを使った現金引き出しサービスの提供を行うパイロット・プロジェクトが行われた⁵¹。同プロジェクトのワーキンググループの参加機関では、2019 年に現金引き出しポイントが 90 カ所から 3,700 カ所に増加したが、そのほとんどが地方であった。

(2) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等

マイクロファイナンスを実施する機関については、2010 年 7 月 2 日に制定された連邦法「マイクロファイナンスの活動及びマイクロファイナンス機関について」⁵²によって規定されている。マイクロファイナンス機関として認められるのは、基金、独立非営利団体、事業体またはパートナーシップの形式で登録された法人で、かつ同法で規定された手続きによってマイクロファイナンス機関として認定された法人である。

2019 年末時点で、マイクロファイナンス機関として認定された法人数は 1,774 であり、前年比では 11.4%の減少となった。マイクロファイナンス機関数については、近年、減少傾向が続いている（図表 29）。これは、ロシア中銀による監督の強化に伴い、不正もしくは非活動的なマイクロファイナンス機関が市場から退出させられた結果であるとみられている。

図表 29：マイクロファイナンス機関数とマイクロローン残高（各年末）



(出所) ロシア中央銀行 「アニュアルレポート 2019」 p. 67
https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf
(閲覧日：2020 年 11 月 18 日)

一方、マイクロファイナンス機関が提供するローン（マイクロローン）に対する需要は増加を続けている。2019 年中に締結されたマイクロローンの契約数は前年比 17.0%増の 3,380 万件となり、同年末時点のマイクロローンの残高合計は 2,120 億ルー

⁵¹ ロシア中央銀行「アニュアルレポート 2019」p.185

https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf (閲覧日：2020 年 12 月 2 日)

⁵² “Federal Law No.151-FZ of July 2, 2010 “On Microfinance Activities and Microfinance Organizations”
www.cbr.ru/content/document/file/33655/151-fz.pdf (閲覧日：2020 年 10 月 1 日)

ブルと、前年比 **29.6%**の増加となった⁵³。

2. 最近のリテール決済の動向

(1) キャッシュレス決済等の動向

ロシアでは近年、リモート・バンキングサービス等の普及により、キャッシュレス決済が急拡大している。2016年に信用機関の顧客により取引されたキャッシュレス決済の全件数のうち、**95%**は電子テクノロジーを用いたものであり、その取引件数は前年比約**30%**増の**187**億件に達し、取引金額は同**0.8%**増の**536.6**兆ルーブルであった⁵⁴。この傾向はその後も続いており、電子決済件数は2017年に**254**億件、2018年には**344**億件、**2019年には452億件**に達し、その取引金額は2017年に**592.6**兆ルーブル、2018年に**676.1**兆ルーブル、**2019年には749.6兆ルーブル**へと増加した⁵⁵。

キャッシュレス決済において、もう1つの主要な支払い手段となっているのが、デビットカードやクレジットカードなどの支払カードである。**2019**年末時点でロシアの信用機関によって発行された支払カードの合計枚数は、前年比**4.9%**増の**285.8**百万枚となった（国民1人あたりのカード保有枚数は**1.9**枚）。**2019**年には、これらのカードを用いて、合計**423**億件、総額**92.6**兆ルーブルの取引（現金の引き出しを含む）が行われた。

2020年1月、ズベルバンクは**2019年第4四半期**にロシアで初めて製品・サービスの販売において過半の支払いがキャッシュレスで行われたとの分析結果（SberDataプロジェクト）を公表した。**2018年第4四半期**には**45.9%**であったキャッシュレスの支払いは、**2019年第4四半期**には**50.4%**に高まったとされている⁵⁶。

(2) フィンテックの動向

2018年2月7日、ロシア中銀は「**2018～2020年の金融テクノロジー発展の基本的方向性**」と題する政策文書を採択した⁵⁷。

同文書では、金融テクノロジーの発展に関するロシア中銀の目的として、①金融市場における競争環境の発展、②金融サービスの質とアクセス性の向上、③金融分野におけるリスクとコストの低減、④ロシアの技術的競争力の向上、の4つが掲げられている。これらの目的の実現に向けて、ロシア中銀は今後、①ロシア金融市場への新しい金融テクノロジーの導入に関する分析・研究・提言の策定、②デジタル金融インフラの創設と発展、③金融テクノロジーの発展に必要な法制の整備、④規制の柔軟性と順応性の向上、⑤革新的な金融テクノロジーに関するロシア中銀の規制プラットフォームの創設、等を進めていくとしている⁵⁸。同文書の実現に向けてロシア中銀が講

⁵³ ロシア中央銀行 「アニュアルレポート 2019」 p.67
https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf （閲覧日：2020年11月18日）

⁵⁴ ロシア中央銀行 「アニュアルレポート 2016」 p.133
https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/8314/ar_2016_e.pdf （閲覧日：2020年3月3日）

⁵⁵ ロシア中央銀行 「アニュアルレポート 2017」 p.58 https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/7796/ar_2017.pdf
「アニュアルレポート 2018」 p.60 http://www.cbr.ru/collection/collection/file/24037/ar_2018_e.pdf （閲覧日：2020年10月1日） 「アニュアルレポート 2019」 p.69
https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf （閲覧日：2020年11月18日）

⁵⁶ Payments Industry Intelligence, Feb.3rd 2020, <https://www.paymentscardsandmobile.com/cashless-payments-exceed-cash-transactions-in-russia-in-for-the-first-time/> （閲覧日：2020年10月1日）

⁵⁷ ロシア中央銀行プレスリリース <http://www.cbr.ru/Press/event/?id=1623> （閲覧日：2020年10月1日）

⁵⁸ ロシア中央銀行 “Основные направления развития финансовых технологий на период 2018-2020 годов”, pp. 1-19

じていく具体的な措置の一覧は、「『2018～2020 年の金融テクノロジー発展の基本的方向性』の実現に関する措置計画」⁵⁹にまとめられている。

ロシアのフィンテック分野における 2018 年中の主要な出来事は以下の通りである⁶⁰。

- ・ 2018 年 6 月 30 日より、ロシア中銀・政府の主導により構築された遠隔生体認証プラットフォームを利用した銀行サービスの提供が、国内の 5 銀行によって開始された。同サービスの利用は、パソコン等の他、スマートフォンを通じて可能であるが、スマートフォンを通じた同サービスの利用は、現時点では Android 搭載端末に限られる（iOS 端末はテスト段階にある）。
- ・ 2018 年 4 月、ロシア中銀は、ロシア金融市場における革新的な商品・サービス・技術の迅速かつ安全な育成を目的として、「レギュラトリー・サンドボックス」を導入した。この枠組みの中で、2018 年中に銀行やフィンテック企業等から 20 件を超える応募があり、うち 2 件がパイロット・プロジェクトとして承認された。2019 年には 44 件の応募があり、5 件のサービスがテストされた。

ロシア最大手行のズベルバンクは、2019 年 3 月に大企業向けフィンテック関連ソフト開発企業である MF テクノロジーズの 36% の株式を取得するなど⁶¹、フィンテックへの積極的な参入姿勢を示している。

ズベルバンクは先述の通り、デジタル戦略を積極果敢に推進している。個人向けデジタルバンキングでは、オンラインショップや通信事業者と提携し、アプリ内から財サービスを購入し、ズベルバンクで自動的に決済を行うことができるモバイルアプリ Sberbank Online がある。2019 年にはアプリに検索機能が追加された。アプリに示されるメッセージやバナーはユーザーごとにカスタマイズされ、パーソナライゼーションが進んでいる。

一方、IT 事業者による銀行業への参入について、2019 年 3 月にロシア中銀はデジタル銀行（店舗網も ATM も持たない）Bank131 に対する銀行ライセンスの認可を決定した⁶²。同行は、IT 企業を傘下にかかえる持ち株会社 FIX の創設者ドミトリー・エレメーエフ Dmitry Ereemeev の創設による。2020 年 9 月には、「ロシア版グーグル」と称されるヤンデックス（Yandex）が、オンライン専門銀行ティンコフバンク（Tinkoff、2006 年設立）の買収を発表している。

Ernst & Young が公表している Global FinTech Adoption Index 2019 によると、消費者のフィンテック採用率では、ロシアは中国（87%）、インド（87%）に次ぐ第 3 位の 82% となっており、都市部を中心にモバイルアプリの利用拡大など、急速な浸透が見られる。同調査は 27 カ国約 27,000 人のオンラインを活用している成人に対するオンライン・インタビューを取りまとめたもので、下記の 5 分野 19 サービスのうち 2 つ以上の関連するサービス（例えば Online stock broking と Online investment advice といった形）を利用している場合にフィンテック採用者と定義づけている。全体の採用

https://www.cbr.ru/Content/Document/File/85540/ON_FinTex_2017.pdf（閲覧日：2020 年 10 月 1 日）

⁵⁹ ロシア中央銀行「План мероприятий («дорожная карта») по реализации «Основные направления развития финансовых технологий на период 2018-2020 годов»

https://www.cbr.ru/Content/Document/File/92805/roadmap_18_20.pdf（閲覧日：2020 年 10 月 1 日）

⁶⁰ ロシア中央銀行「Аннуальレポ́рт 2018」p. 174-175

http://www.cbr.ru/collection/collection/file/24037/ar_2018_e.pdf（閲覧日：2020 年 10 月 1 日）「Аннуальレпо́рт 2019」p 202-203 https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/29420/ar_2019.pdf（閲覧日：2020 年 11 月 18 日）

⁶¹ ズベルバンク ウェブサイト https://www.sberbank.ru/en/press_center/all/article?newsID=99d76e42-db24-4fac-931a-85f1917ce9e3&blockID=1539®ionID=77&lang=en&type=NEWS（閲覧日：2020 年 10 月 1 日）

⁶² ロシア中央銀行ウェブサイト <http://www.cbr.ru/eng/press/event/?id=2524>（閲覧日：2020 年 10 月 1 日）

率は 64%で、日本は 34%にとどまっている⁶³。

<参考：EY の定義するフィンテックサービス一覧>

カテゴリー	サービス
Money transfer and payments	Online foreign exchange
	Overseas remittances
	Digital-only branchless banking
	Peer-to-peer payments and non-bank money transfers
	In-store mobile phone payments
	Cryptocurrency eWallet
Budgeting and financial planning	Online budgeting and financial planning tools
	Online retirement and pensions management tools
Savings and investments	Lending on peer-to-peer platforms
	Investments via crowdfunding platforms
	Online investment advice and investment management
	Online stock broking
	Online spreadbetting
Borrowing	Online-only loan providers
	Online marketplaces and aggregators for loans
	Online loan brokers and broker facilitation websites
Insurance	Insurance premium comparison sites
	Insurance-linked smart devices
	App-only insurance

3. 今後のリテール金融機関の動向

今後のリテール金融機関の動向に関して、ポストバンクについてみると、以下の通りである。

2016 年 8 月、ポストバンクは 2023 年までの事業戦略を策定した。同戦略によれば、ポストバンクは実店舗によるサービス提供の拡充の一方で、コストの削減や決済の非現金化の推進を事業戦略として挙げており、そのためにインターネットバンキングや ATM、POS ターミナルの整備に力を入れていくとしている。

同戦略によると、ポストバンクは 2023 年までにロシア全土の拠点を 26,000 以上に拡大し、2,100 万人の顧客数を獲得する計画であり、これらの指標に関してロシア国内でリーダー的存在になることを計画している。拠点網の拡充が予定されている地域には、アクセスの困難な地域も含まれており、また、全拠点数の 90%以上は、郵便局を利用したコンパクトな拠点となることが予定されている。また、個人顧客と法人顧客のそれぞれについて、図表 30 で示す事業戦略を進めていくとしている。

さらに、金融商品以外では、ロシア郵便の物流ネットワークを利用した e コマース事業への参入が検討されている。ポストバンクに取引用の口座をもつインターネット販売業者にはポストバンクの e コマースのプラットフォームへの商品の出品にあたり、出品手数料や商品配送料の割引などの特典が付与されると考えられる。なお、報道情報によると、ロシアポストは東芝と郵便・物流システム事業における戦略的協業に関する覚書を締結しており、物流システムの一部には、同社の製品を採用している⁶⁴。

⁶³ EY によるオンライン・インタビュー調査は、2015 年、2017 年に続いて 3 度目の実施となる。

https://www.ey.com/en_gl/ey-global-fintech-adoption-index （閲覧日：2020 年 10 月 1 日）

⁶⁴ 東芝プレスリリース http://www.toshiba.co.jp/about/press/2016_12/pr_j1602.htm （2016 年 12 月 16 日）、
<https://www.toshiba.co.jp/cs/topics/back-number/20170907.htm> （2017 年 9 月 7 日） （閲覧日：2020 年 3 月 3 日）

図表 30 : ポストバンクの今後の主な事業戦略

顧客対象	主な事業戦略
個人	・「ロシア連邦年金基金」との関係強化、および、同基金の地方支部におけるポストバンクの拠点の開設 ・預金および貯蓄口座、現金ローン、商品ローン(POS ローン)、クレジットカードおよびデビットカード、インターネットバンキング、バーチャルカードなど、国民の大半に向けたシンプルな商品とサービスの提供 ・給与振込口座の開設者や、過去に同行と取引履歴を持つ低リスクな顧客へのローン業務の提供 ・手数料ビジネスとして、パッケージ型保険商品、法的サービスの提供、環境保護活動への参加支援等
法人	・個々の事業者向けに特化したサービスの提供（個人事業主、住宅公共サービス企業、インターネットコマース等） ・標準パッケージ及び追加サービスの提供 ・質の高いローンポートフォリオ（取引履歴を持つ顧客への貸出）を通じた収入確保
全般	・IT システムの活用、ユニークな金融商品の開発、効率的な販売システムおよび高度なリスク管理システムの構築 ・ビジネスの開放性と透明性の維持、高品質且つ手頃な金融サービスの顧客への提供

（出所）ポストバンク 「アニュアルレポート 2016」 pp. 4-6 を基に作成
<https://www.pochtabank.ru/about/data> （閲覧日：2020 年 3 月 3 日）

< 出所資料一覧 >

【国際機関・外国機関文献・データベース】

- ・ IMF “World Economic Outlook”
- ・ World Bank “Global Findex Database”

【中央銀行・監督官庁・銀行協会等 HP】

- ・ ロシア中央銀行
- ・ ロシア預金保険公社
- ・ ロシア国家統計庁
- ・ Banki.ru 「銀行の格付け」（ロシア語）

【論文・雑誌・業界紙】

- ・ 黒坂 昭一 「ロシアの金融とリスク管理」
（内閣府経済社会総合研究所、2001 年 3 月）
www.esri.go.jp/jp/tie/russia/russia3.pdf
- ・ 今井 雅和 「ロシアの銀行セクターと個人向けローンビジネス」
（早稲田大学 消費者金融サービス研究所『Working Paper』IRCFS04-001、2004 年 5 月）
www.waseda.jp/prj-ircfs/pdf/ircfs04-001.pdf
- ・ 中村 靖 「帝政ロシア・ソ連・現代ロシアの金融統計の発展」
（一橋大学経済研究所 ロシア研究センター『RRC Working Paper Series』No.57、2016 年 4 月）
www.ier.hit-u.ac.jp/rrc/Japanese/pdf/RRC_WP_No57.pdf

【郵政公社・郵貯等】

- ・ ロシアポスト
- ・ ポストバンク

【民間金融機関等 HP】

- ・ ズベルバンク
- ・ VTB 銀行
- ・ ガスプロム銀行
- ・ アルファ銀行
- ・ ロシア農業銀行
- ・ オトクリティエ FC 銀行
- ・ モスクワ信用銀行
- ・ ウニクレディト銀行
- ・ プロムスビャジバンク
- ・ ライファイゼンバンク